

必要なとき

初期設定一覧	R-2
個人情報の取り扱いについて	R-5
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	R-5
GPS衛星の電波受信と測位	R-6
GPS(Global Positioning System)について	R-6
受信しにくい場所について	R-6
受信するまでの時間について	R-6
自律航法とマップマッチング	R-7
現在地の誤差について	R-7
自律航法&マップマッチング	R-7
学習度と現在地	R-7
交通情報(VICS情報)について	R-8
VICS情報の更新に伴う表示変更について	R-8
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について	R-9
音声案内について	R-10
ETCについて	R-11
ディスクの取り扱いかた	R-12
本機で再生できるディスクについて	R-13
SDカードの取り扱いかた	R-15
SDカードについて	R-16
USB機器について	R-17
iPod／iPhoneについて	R-18
対応可能なiPod／iPhone	R-18
使用上のお願い	R-18
BLUETOOTH Audioについて	R-19
使用上のお願い	R-19
ハンズフリーについて	R-20
使用上のご注意	R-20
音楽ファイル(MP3／WMA／AAC)について	R-22
画像ファイル(JPEG)について	R-26
動画ファイル(MPEG4／H.264)について	R-26

ワンセグについて	R-28
ワンセグの番組受信について	R-29
マルチサービスについて	R-29
ワンセグの画像について	R-29
オーディオ リモコン スイッチ	R-30
地図ソフトについて	R-32
出発地・経由地・目的地の設定について	R-36
経由地、目的地の設定の注意点	R-36
ルート案内時の注意点	R-38
地図に表示される記号	R-42
市街地図(10 m／25 m／50 mスケール) の収録エリア	R-44
細街路(日本全国)探索エリア	R-47
VICSについてのお問い合わせ	R-48
故障かな?と思ったら	R-52
メッセージ表示について	R-69
用語説明	R-74
構成内容	R-78
主な仕様	R-79
別売品(システムアップ)について	R-80
保証／アフターサービスについて	R-82
商標など	R-83
さくいん	R-85

初期設定一覧

各種設定初期状態は下記の通りです。

●ナビゲーション

画面表示	メイン画面	北方向を上 スケール＝100 m	
	右画面	北方向を上 スケール＝400 m	
CZMZKOCQ	自宅へ帰る、案内スタート／ストップ、 渋滞地点、再探索、地点を登録、周辺施設、 右画面表示、昼夜切替、道路切替		
情報	FM多重	受信番組設定	交通情報番組(VICS)
		周波数設定	自動選局＝ON プリセット選局＝未設定
報	ecoドライブ設定	急加減速のお知らせ＝する eco速度超過のお知らせ＝する アイドリングのお知らせ＝しない 評価履歴＝残す 評価レベル＝初級 ecoドライブ表示＝しない	
設定	地図表示	メイン画面の設定 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目	
		右画面の設定 右画面に地図表示＝しない 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目	
定	地図表示	地図色設定 昼夜切り替え＝スモール連動 地図切り替え＝ノーマル 標高地図色＝季節連動	
		情報バー表示設定 MAPCODEを表示＝する 地図情報を表示＝住所名 AUDIO情報を表示＝しない	
定	地図表示	その他設定 緯度・経度を表示＝しない 登録地点を表示＝する	

ルート案内	ランドマーク 現在地(カーマーク)	全ルートの表示＝する 交差点情報の表示＝する ルート色の表示＝ピンク ETCレーンの表示＝する ルート情報の表示＝しない ハイウェイモードの表示＝する JCT ビューの表示＝する 交差点拡大図の表示＝する リアル 3D 表示＝する 方面看板の表示＝する AV 画面中の案内割込み＝する 盗難多発地点案内＝しない 目的地方向を表示＝しない	
		カーディーラー＝Honda Cars 店、オートテラス	
設定	音声案内	合流案内＝案内中 踏み切り案内＝案内中 専用レーン案内＝ON 高速走行時の音声切替＝ON VICS 案内＝ON 案内音量＝15 目盛中左から 7 目盛目	
		探索条件＝推奨 料金表示＝普通車 自動再探索＝する フェリーを優先＝しない 季節規制考慮＝する 時間規制道路を考慮＝する スマート IC を利用＝しない ルート学習結果を利用＝する VICS 自動再探索＝する internavi 交通情報を考慮＝する* ¹ VICS 情報を考慮＝する* ²	
定	VICS	一般道＝ON	有料道＝ON
		駐車場＝ON	規制＝ON
定	到着予想	渋滞無し＝OFF	渋滞混雑＝ON
		点滅＝ON	
定	走行軌跡	自動 ※自動を OFF にすると、一般道路／国道／有料道路 が設定可能となります。 一般道路＝30 km/h 国道＝40 km/h 有料道路＝80 km/h	
		軌跡の記録スタート／ストップ＝ストップ 軌跡保存データ＝なし	

* 1…VXM-145VSi の場合

* 2…VXM-145VS／VXM-145C の場合

設 定	オプションボック	自宅
	お知らせ * 1	オイル交換＝しない クリーンフィルター交換＝しない 車検・点検＝しない タイヤローテーション＝しない 結婚記念日＝しない 誕生日 1＝しない 誕生日 2＝しない お好み＝しない
	ETC	カード挿入アイコン表示＝する 本体ブザー音＝する 音声案内＝する カード入れ忘れ警告＝する カード有効期限案内＝する 表示割込み時間＝5秒
	セキュリティ	セキュリティ設定＝する セキュリティインジケータ＝する
	フロント／コーナーカメラ設定	フロント／コーナーカメラ自動表示＝いいえ 登録地点検知＝はい カメラインジケータ表示＝はい ※別売のフロント／コーナーカメラ接続時のみ
	リアカメラ設定	リアカメラ設定次回表示ビュー ＝前回表示ビューと同じ ※車両標準装備または別売のリアワイドカメラ接続時
	その他	キー操作音＝キー操作音 1 映像中の時計表示＝する

* 1…VXM-145VS／VXM-145Cの場合

初期設定一覧

● 音量調整

音量 = 3

● 画質調整

明るさ

・イルミ^{*1} OFF時 = 25(ナビ、カメラ映像^{*2}共通)

・イルミ^{*1} ON時 = 8(ナビ)

16(フロント/コーナーカメラ)

12(リアカメラ)

コントラスト = 16(ナビ、カメラ映像^{*2}共通)

色の濃さ = 16(ナビ、カメラ映像^{*2}共通)

色合い = 16(ナビ、カメラ映像^{*2}共通)

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ/色合い/ディスプレイ選択は表示されません。

※1…イルミ=イルミネーション

※2…カメラ映像=リアカメラ・フロントカメラ・
コーナーカメラ

● USB / SD

選曲モード = 全曲

再生モード = 未選択

モード切替 = 音楽ファイル

● サラウンド設定

OFF

※DSP選択時 = HALL

● イコライザー設定

OFF

● フェード・バランス調整

各項目の調整値 = 0

● 車速連動音量

設定 = MIDDLE

● FM / AM(ラジオ)

FM / AM = FMモード

FM周波数 = 76.0 MHz

AM周波数 = 522 kHz

交通情報 = 1620 kHz

● iPod

モード = ミュージック

● BLUETOOTH Audio^{*1}

パスキー = 0000

● DVD^{*1}

音声言語 = 日本語

メニュー言語 = 日本語

字幕言語 = 日本語

ダイナミックレンジ圧縮 = OFF

モニター設定 = ワイド

視聴制限レベル = 制限なし

● ワンセグ^{*1}

エリア変更 = 自動

視聴エリア = 東京

チャンネルリスト = 登録済(東京)

プリセットリスト = 未登録

音声設定 = 音声1、主

字幕設定 = 字幕なし

設定

中継・系列局サーチ = 自動

● ハンズフリー

パスキー = 1212

発着信音量 = +10

受話音量 = +10

送話音量 = +4

自動接続 = する

デバイス名 = Gathers

*1…VXM-145VSi / VSの場合

個人情報取り扱いについて

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

必要なとき

■ 個人情報に関わる設定を初期化する

☞ 「データを初期化(消去)する」 G-24

■ それぞれの設定箇所で消去する

- 本機から発信または本機に着信した電話の履歴情報の削除

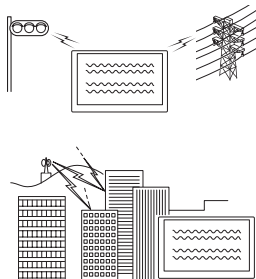
☞ 「発着履歴を削除する」 Q-24

- 本機に転送したアドレス帳の情報の削除

☞ 「**アドレス帳から**」 Q-22の手順 **2** で **全削除** をタッチする

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
 - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ・ トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
 - ・ 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
 - ・ 携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
 - ・ ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

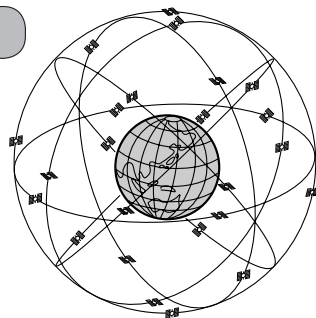


GPS 衛星の電波受信と測位

グローバル ポジショニング システム GPS(Global Positioning System)について

地球の周り高度約21,000 kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

※本機では高度は表示しません。



GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

受信しにくい場所について

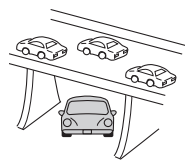
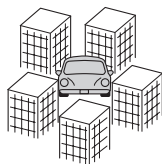
GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。

GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところ です。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステムなど)の妨害、また、一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行ってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上のGPS文字の色と方位表示の背景色が青色になり、測位した現在地を表示します。

本機を取り付け後または車のバッテリーなど交換後、初めてお使いのときや、長時間で使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。) 通常は電源を入れてから数分で表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30 m～200 m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法*¹ & マップマッチング*²

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのずれを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

- * 1…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。
- * 2…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの通路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、ジャイロセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。

ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。

これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行が必要ですので、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にずれが発生する場合があることをご承知おきください。

交通情報(VICS 情報)について

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。

渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。

本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。



アドバース

表示されるFM VICS 情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

VICS 情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。

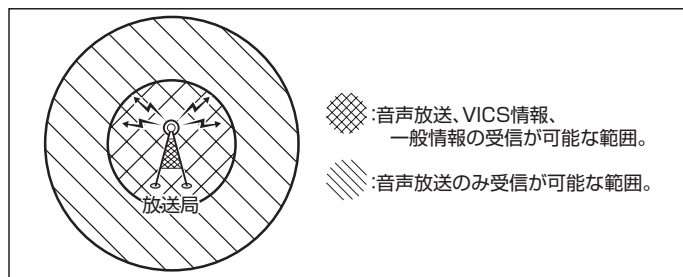
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。

VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などについては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。[📄]「[VICSの概要](#)」R-48

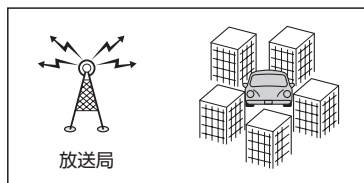
交通情報(VICS 情報)／一般情報の受信について

必要なとき

- VICS 情報、一般情報は、デジタルデータにされ、FM ラジオ放送局の電波の一部を使って送られます。(すべての FM ラジオ放送局で VICS 情報、一般情報を放送しているわけではありません。) デジタルデータは正確に受信する必要があるため、電波が強い場所でなければ受信できません。従って、お手持ちのラジオで、FM ラジオ放送局から送られてくる音声放送が聞けたとしても、その放送局から送られてくる VICS 情報、一般情報は受信できない場合があります。

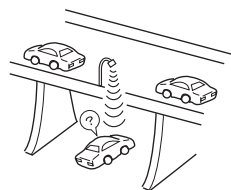


- 放送局からの距離は、受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合があります。



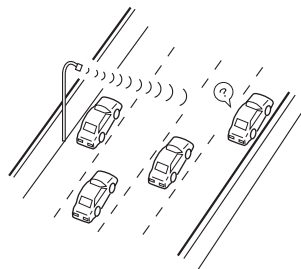
<一般道路走行中には>

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路の VICS 情報を受信することがあります。



<高速道路走行中には>

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS 情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS 情報を受信しにくいことがあります。



音声案内について

音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行わない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 細街路に進入すると「実際の交通規制に従って走行してください。」と音声案内します。
- 経由地に近づくとき“まもなく経由地 1 付近です”と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくとき“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。



アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は、「音声案内の音量調整／詳細設定をする」F-18をご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などに従ってください。
- 音声案内を再度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合 **現在地** を押すと、再度音声案内を聞くことができます。
- 「**■ 音声案内をやめる**」F-18で **消音** を選んでいる場合は、**現在地** を押しても音声案内を聞くことはできません。

ETCについて

<ETCとは>

インターチェンジランプなどの料金所では、一旦、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。

しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。

ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)は、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに、自動的に料金支払いができるシステムです。

ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。

通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。

※ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

<ETCを利用するには>

ETCをご利用になるには、ETC車載器のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。

カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法については、ETC車載器に添付の説明書をご覧ください。

必ず、ETCシステム利用規定等をお読みください

ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。

※利用規定等は、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。



アドバイス

- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。
- 車を離れるときは、ETCカードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETCカードをETC車載器に入れたまま、バッテリーを外さないでください。
- システム作動中はETC車載器内の温度が上昇します。そのため、ETCカードの表面も温かくなりますが、故障ではありません。
- ETCレーンの表示(「 F-8)を「しない」に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。

予告案内について

- ETC車載器からの予告案内を受信すると、予告案内が表示、一部音声でのお知らせをします。内容は以下の通りです。

“ETCが利用できません”

“ETCが利用可能です”

- 予告案内は料金所に予告アンテナ／ETC予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

ディスクの取り扱いかた

- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。

- 印刷面や記録面にキズをつけないようにしてください。

- 車のエンジンスイッチを0(ロック)時にディスクを挿入しないでください。無理やり押し込むとディスクが傷ついたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

- セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク、また、はがれかけのラベル類、付箋などの紙類が貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、はがれた紙類が製品内部に残ってしまい、本機が故障する原因となります。

- ディスクは使用中、高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きく反ったディスクは使用しないでください。

- 反らないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。

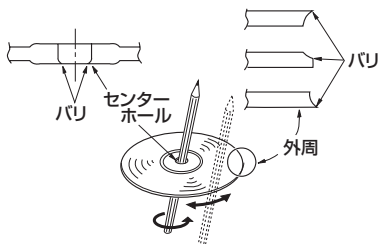
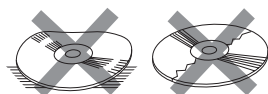
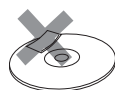
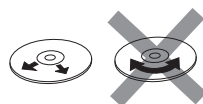
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

- 取り出した直後は、ディスクが熱くなっていることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。

※本機の読み取り性能およびディスクへの影響はありません。

- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。



本機で再生できるディスクについて

必要なとき

VXM-145VSi		DVD-R / -RW / -R DL
VXM-145VS	 	CD-R / -RW
VXM-145C	 	CD-R / -RW

※ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

■下記のディスクには対応していません。(再生できても正常に再生されないことがあります。)

- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- HD DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD
- DVD+R / +RW / +R DL

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R / -RW / -R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。
- デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R / -RW / -R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り可能です。(☞下記表)

※DVD-R / -R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。

DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの説明書をよくお読みください。

ビデオ再生のディスク対応一覧表

メディアの種類 (記録方式)	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画映像の種類							
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×	×	×	×	×	×	×

—：記録できないディスク

×：再生できないディスク

*…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

本機で再生できるディスクについて

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

■CD-R、CD-RWについて

拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2フォーマットに対応しています。

■CD-R／CD-RW／DVD-R／DVD-RW／DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- 記録に使用したレコーダの種類
- CD-R／CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行う機器の説明書や注意事項をよくお読みください。

■8 cmディスクについて

本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコンなどで複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CDがCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CDの再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CDの発売元にお問い合わせください。

■特殊形状のディスクについて

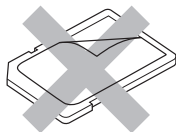
ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

SDカードの取り扱いかた

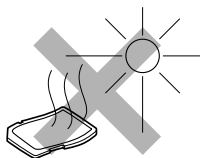
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



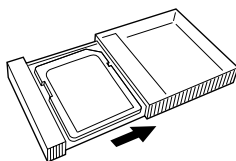
- 変形したSDカードやラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってあるSDカードは使用しないでください。



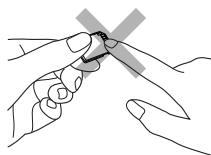
- 直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。
SDカードが使用できなくなる場合があります。



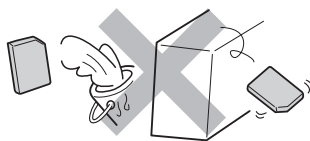
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。



SDカードについて

- 本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しています。
- 本機はSD規格に準拠した下記のSDカードに対応しています。

使用できるSDカードの種類(下記以外のSDカードは使用できません)	
・SDカード(2GB以下、256MB以上を推奨) ・SDHCカード(4GB～32GB)(Class2～10)	※SDロゴ、SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用可 ※対応した機器でのみ使用可 ※SDXCカードには対応していません。

- SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。弊社では、スピードクラス10以上のパナソニック製・東芝製・サンディスク製カードの使用を推奨しております。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。ただしアダプターご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- SDカードの初期化は本機で行ってください。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードを破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書き込み中／読み込み中(再生中など)にSDカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが壊れたり、SDカードが破損するおそれがあります。破損した場合、補償できません。
- SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。取り出した後は、ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のものがある場所など)でのご使用や保存はしないでください。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に表示されたメッセージに従って操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売会社にご相談ください。

●操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりです。

機 能	SDカード (2GB以下)	SDHCカード (4GB以上)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
地点登録*1*3	○	○	○	○
音楽ファイル再生(MP3／WMA／AAC)	○	○	○	○
画像ファイル再生(JPEG)	○	○	○	○
動画ファイル再生(MPEG4／H.264)*2	○	○	○	○

- *1…SDカードに保存した地点を本機に登録することができます。
- *2…VXM-145VSi／VSの場合
- *3…VXM-145VSiの場合

- 長時間ご使用になったあと、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

USB 機器について

USB 機器に MP3 / WMA / AAC / JPEG / MPEG4 / H.264 形式で作成された音楽 / 画像 / 動画データを本機で再生することができます。(VXM-145C は、動画データは再生できません。)

必要なとき

- 本機には USB 機器は付属していません。
- 本機に接続されている別売の USB 接続ジャックに USB 機器を接続してご使用ください。
- USB 機器に記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- USB 機器の再生中に USB 機器を外さないでください。
- 32 GB までの容量の USB フラッシュメモリに対応しています。(256 MB 以上を推奨)
- マスストレージクラスの USB フラッシュメモリに対応しています。
- FAT16 / FAT32 のファイルシステムに対応しています。
- 下記の USB 機器、接続には対応していません。
 - ・パーティションが複数ある USB 機器
 - ・電流が 500 mA を超える USB 機器
 - ・パソコンに接続した際、ドライバを要求される USB 機器
 - ・セキュリティ機能など特殊な機能が付いている USB 機器
 - ・USB ハブ、USB 延長ケーブルを介した接続
- 全ての USB 機器の動作を保証するものではありません。

iPod / iPhone について

対応可能な iPod / iPhone

2013年2月現在

iPod / iPhone モデル名	ソフトウェア バージョン(iOS)	iPod用接続ケーブル(別売)で接続		LIGHTNINGケーブルで接続	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone 5	6.1.2以上	×	×	○	×
iPhone 4S	6.1.2以上	○	○	×	×
iPhone 4	6.1.2以上	○	○	×	×
iPhone 3GS	6.1.2以上	○	○	×	×
iPhone 3G	4.2.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第5世代)	6.1.2以上	×	×	○	×
iPod touch(第4世代)	6.1.2以上	○	○	×	×
iPod touch(第3世代)	5.1.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第2世代)	4.2.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第1世代)	3.1.3以上	○	○	×	×
iPod Classic	1.1.2以上	○	○	×	×
iPod Video	1.3以上	○	○	×	×
iPod nano(第7世代)	1.0.2以上	×	×	○	×
iPod nano(第6世代)	1.2以上	○	×	×	×
iPod nano(第5世代)	1.0.2以上	○	○	×	×
iPod nano(第4世代)	1.0.4以上	○	○	×	×
iPod nano(第3世代)	1.1.3以上	○	○	×	×
iPod nano(第2世代)	1.1.3以上	○	×	×	×
iPod nano(第1世代)	1.3.1以上	○	×	×	×

○：可能　×：不可

※第4世代以前のiPod、iPod miniおよびiPod photoには対応しておりません。



● iPod / iPhoneは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のホームページよりインストールしてご使用ください。

※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。

● ソフトウェアのバージョンにより、本機接続中でもiPod / iPhone側の操作ができる場合がありますが、正しく動作しない場合がありますのでiPod / iPhone側で操作しないでください。

● iPod / iPhoneの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。

● ソフトウェアのバージョンはiPod / iPhone本体の“情報”よりご確認ください。

● 各iPod / iPhoneの仕様はiPod / iPhoneをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

● VXM-145Cは、ビデオ再生には対応していません。

使用上のお願い

● iPod / iPhoneを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPod / iPhoneの故障の原因となります。

● iPod / iPhoneのユーザガイドもあわせてご確認ください。

● 本機への接続前と取り外し後で、iPod / iPhoneのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。

● iPod touch / iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch / iPhone本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

BLUETOOTH Audio対応機器をお持ちの場合に、BLUETOOTH無線技術を利用して本機のBLUETOOTH Audio機能を使用することができます。

必要なとき

使用上のお願ひ

- 本機は全てのBLUETOOTH機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
接続するBLUETOOTH Audio対応機器はBluetooth SIG. Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH Audio対応機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、音が飛ぶなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio再生中にBLUETOOTH接続された携帯電話を操作すると、BLUETOOTH Audioの音楽が出なくなることがあります。BLUETOOTH Audio再生中は、BLUETOOTH接続された携帯電話の操作はお控えください。
- BLUETOOTH接続された携帯電話で通話している間は、自動的にBLUETOOTH Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後はBLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、BLUETOOTH Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器をご使用になる場合は、BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のうえご使用ください。
- BLUETOOTH Audio対応機器によっては、初期登録設定後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- デジタル方式のため、音楽が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器を充電することはできません。
- BLUETOOTH Audio対応機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によってはBLUETOOTH操作を行えない場合があります。その場合はBLUETOOTH Audioの登録を削除してください。
- BLUETOOTH Audio対応機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所にBLUETOOTH Audio対応機器を置いてください。本機とBLUETOOTH Audio対応機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合もあります。
- BLUETOOTH Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器と本機以外が接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続できない場合があります。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。
- BLUETOOTH対応機器のアプリによってはBLUETOOTH Audioが正しく動作しない場合があります。

ハンズフリーについて

使用上のご注意

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時 ・ 高速走行時 ・ 窓を開けているとき ・ エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機は全てのBLUETOOTH機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBLUETOOTH対応携帯電話はBluetooth SIG, Incの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH対応携帯電話が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示/動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
 - ・ 通話エリア外に車が移動したとき
 - ・ トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいます
- BLUETOOTH通信用の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーはマイクを使用して通話します。
マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話してください。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBLUETOOTH接続してください。

- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
 - ・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
 - 1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
 - 3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解や改造をする
 - ・ ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 携帯電話と本機以外の機器がBLUETOOTH接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続を行うことはできません。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、BLUETOOTHの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行ってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリーは対応していません。



アドバース

携帯電話にはご利用にならない機種があります。適合携帯電話機種については、下記ホームページをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/>

音楽ファイル(MP3 / WMA / AAC)について

●MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

●WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。**DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。**

Windows Media Audio Standard フォーマット以外のフォーマットには対応していません。

●AACとは？

Advanced Audio Cordingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 / WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

●音楽データの規格について

* 1…VXM-145VSi / VSの場合

	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R / -RW、 DVD-R / -RW / -R DL *1、 SD、USB	CD-R / -RW、 DVD-R / -RW / -R DL *1、 SD、USB	SD、USB
データの規格、プロファイル	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名 / ファイル名文字数	全角32文字 半角32文字(CD、DVD)、半角64文字(SD、USB)		
フォルダ名 / ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角 / 半角)、0～9(全角 / 半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角 / 半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数: ルートフォルダ含む)		
1メディア内の最大ファイル数	CD、DVD: 512 SD、USB: 10,000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD、DVD: 255 SD、USB: 400		
表示可能なタグ	CD、DVD: トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 SD、USB: トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名		
タグ表示可能文字数	ID3タグ Ver1.0/1.1 : 全角15 / 半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3 : CD : 全角30 / 半角60文字 SD、USB : 全角32 / 半角64文字	CD、DVD : 全角30 / 半角30文字 SD、USB : 全角32 / 半角64文字	全角32 / 半角64文字
ジャケット写真	CD、DVD: 非対応 SD、USB: 対応		

※ m3u / MP3i フォーマット / MP3 PRO フォーマット / ディエンファシスは非対応。

※ WMA9 Professional / WMA9 Losslessは非対応。

※ 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。

※ チャンネル数が2を超える音楽データは再生できません。

※ ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先。

●音楽ファイルの再生について

- ・極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- ・選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
- ※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

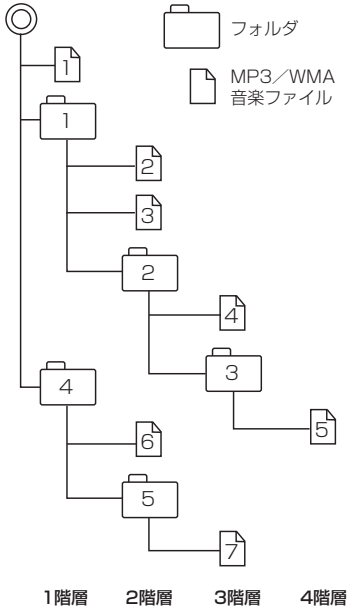
●音楽ファイルのファイル名について

フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

●ジャケット写真について

- ・パソコンのアプリケーションを使用することで、音楽ファイルにジャケット写真を付与することができます。
- ※Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用してください。
- ・MP3／WMA／AACファイルで対応しているジャケット写真の画像はJPEG形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できないことがあります。
- ・音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- ・176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- ・1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

●階層と再生順序について



音楽ファイル(MP3／WMA／AAC)について

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

		MP3		WMA		AAC
		MPEG1	MPEG2	WMA7	WMA9 standard	
サンプリング 周波数 (kHz)	16.000	—	○	—	—	○
	22.050	—	○	—	—	○
	24.000	—	○	—	—	○
	32.000	○	—	○	○	○
	44.100	○	—	○	○	○
	48.000	○	—	—	○	○
ビット レート (kbps)	8	—	○	—	—	○
	16	—	○	—	—	○
	24	—	○	—	—	○
	32	○	○	—	—	○
	40	○	○	—	—	○
	48	○	○	○	○	○
	56	○	○	—	—	○
	64	○	○	○	○	○
	80	○	○	○	○	○
	96	○	○	○	○	○
	112	○	○	—	—	○
	128	○	○	○	○	○
	144	—	○	—	—	○
	160	○	○	○	○	○
	192	○	—	○	○	○
	224	○	—	—	—	○
	256	○	—	—	○	○
	320	○	—	—	○	○
	VBR (可変ビットレート)	○	○	—	○	○

- ・32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- ・64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- ・一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- ・フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

●MP3／WMA／AACファイルの作り方について

MP3／WMA／AACファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

・インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

・音楽CDをMP3／WMA／AACファイルに変換する場合

パソコンと市販のエンコーダソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA／AAC形式のファイルに変換することで12 cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフトなどの説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

・ディスクに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているドライブを介してディスクに書き込みます。このとき、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

●MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

●マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※MP3／WMAファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。



アドバース

- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
 - ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
 - ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMA／AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
 - MP3は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
 - MP3／WMA／AACファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
 - MP3／WMA／AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。
 - 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
 - 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
 - MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子、WMA以外のファイルに“WMA”の拡張子またはAAC以外のファイルに“m4a”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイル／AACファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMA／AACファイル以外に、“MP3”／“WMA”／“m4a”の拡張子を付けないでください。
- MP3／WMA／AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

画像ファイル(JPEG)について

- SD / USB モードのとき、画像ファイル(JPEG)を再生させることができます。
- 再生可能な JPEG ファイルについて

対応形式	Baseline JPEG 方式
再生可能な拡張子	JPG / jpg (大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名 / ファイル名	全角 32 文字 / 半角 64 文字
最大フォルダ階層	8 階層
1 フォルダ内の最大ファイル数	255 (ファイル数 + フォルダ数 : ルートフォルダ含む)
1 メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名 / ファイル名 使用可能文字	A ~ Z (全角 / 半角)、0 ~ 9 (全角 / 半角)、_ (アンダースコア)、 全角漢字 (JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角 / 半角)
ファイルサイズ	10 MB 以下
画像サイズ	16 × 16 ピクセル ~ 4092 × 4092 ピクセル

- Progressive JPEG、カラーフォーマットが Gray scale、RGB、CMYK の JPEG ファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

動画ファイル(MPEG4 / H.264)について

VXM-145VSi

VXM-145VS

- SD / USB ソースのとき、動画ファイル(MPEG4 / H.264)を再生させることができます。
- 再生可能な動画ファイルについて

ビデオコーデック	ビットレート	フレームレート	最大解像度
MPEG4	216 kbps ~ 4 Mbps	15 fps、30 fps	720 × 480
H.264	216 kbps ~ 4 Mbps	15 fps、30 fps	720 × 480

※ MPEG4 (ビデオコーデック) の対応プロファイルは Simple Profile レベル 3 までです。

※ ビットレートが低いと十分な画質を得られない場合があります。

※ H.264 (ビデオコーデック) の対応プロファイルは、Baseline Profile レベル 2.1 までです。

※ 可変ビットレート (VBR) で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

※ Windows Media Video には対応していません。

オーディオコーデック	ビットレート	サンプリングレート
AAC-LC	8 kbps ~ 320 kbps	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、 44.1 kHz、48 kHz
AAC-Plus	×	×

※ ビットレートが低いと十分な音質を得られない場合があります。

※左記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかつたり音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

※動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの説明書を参照ください。

※動画ファイル(MPEG4／H.264)の作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声、映像が乱れる場合があります。

再生可能な拡張子	MP4／M4V／mp4／m4v(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ階層	8階層
表示可能文字数	全角32文字、半角64文字
1フォルダ内の最大ファイル数	100(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	1 GB以下

※WMVは再生できません。

※著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)の映像は再生できません。

●動画ファイルの再生について

- ・極端にサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
- ・極端に再生時間の長いファイル、短いファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
- ・同一ファイル内に音声／映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
- ・チャンネル数が2を超える音楽データを含む動画ファイルは再生できません。
- ・フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※ファイルの先頭に番号を付け(例：001～100など)、一度にメディアに書き込むことをおすすめます。
- ・対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子(MP4／M4V／mp4／m4v)を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
- ・動画ファイルの作り方によっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
- ・SDカード／USBメモリデバイスの種類によっては、転送速度の関係でデータ転送が間に合わずコマ落ち／音飛びの原因になる場合があります。

●著作権について

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

ワンセグについて

VXM-145VSi

VXM-145VS

地上デジタルテレビ放送は、地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の一部で開始された放送です(その他の地域では2006年末までに放送が開始されました)。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルテレビ放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタルテレビ放送の電波の約6 MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

本機では地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。なお、地上デジタルテレビ放送や地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。

※本機はワンセグ受信中に緊急警報放送を受信した際、自動的に電源をONにする機能は持ちません。



アドハイス

「ワンセグ」サービスの詳細につきましては、下記ホームページなどでご確認ください。

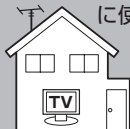
一般社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>



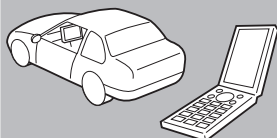
1チャンネルを13のセグメントに分割



通常のテレビ
(固定受信機向け)
に使用



携帯・移動体向けに使用



ワンセグは13個のセグメントのうちの1つを使って、携帯電話などの小型機器に向けた地上デジタルテレビ放送です。

ワンセグの番組内容は、12セグメントを使っている通常のテレビ(固定受信機向け)の番組内容と異なる場合があります。

ワンセグの番組受信について

VXM-145VSi

VXM-145VS

必要なとき

- 地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声か乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声か乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声か乱れる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

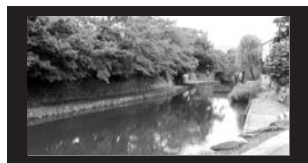
マルチサービスについて

「マルチサービス」とは、1つの放送局が同じ周波数で複数の番組(サービス)を放送している運用形態のことです。番組内容は放送局によって異なりますが、地域や時間帯によっては、放送されていないことがあります。

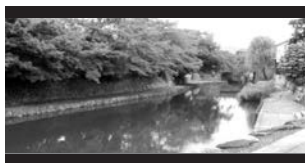
ワンセグの画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示しています。データによって画像の大きさ(比率)が異なります。チャンネルを変えたり、CMや次の番組に変わったときなど、下記のように画像の周りや上下、左右が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。

(例)周りが黒く表示される



(例)上下が黒く表示される



(例)左右が黒く表示される

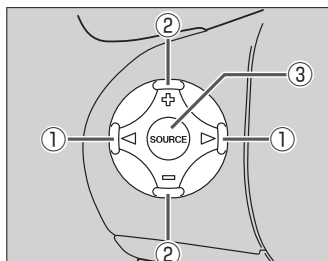
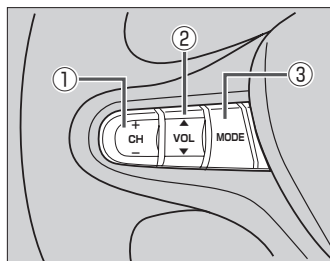


オーディオ リモコン スイッチ

車両標準装備
別売

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。

イラストはイメージ図です。



車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。

※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH- / CH+ スイッチ、◀ / ▶ スイッチ

- ラジオを聞いているとき

CH+ / ▶ を押す。：プリセットされている次の放送局を選局します。

CH- / ◀ を押す。：プリセットされている前の放送局を選局します。

CH+ / ▶ / CH- / ◀ を長く押す。：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

- ワンセグ*2を見ているとき

CH+ / ▶ を押す。：チャンネルリスト上の次の放送局を選局します。

CH- / ◀ を押す。：チャンネルリスト上の前の放送局を選局します。

CH+ / ▶ / CH- / ◀ を長く押す。：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

- MP3 / WMA / AAC ファイル (CD・DVD*1 / SD / USB) を聞いているとき

CH+ / ▶ を押す。：スキップ (次の曲の頭出し) します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ (再生中や前の曲の頭出し) します。

CH+ / ▶ を長く押す。：フォルダアップします。

CH- / ◀ を長く押す。：フォルダダウンします。

- CD / iPod / BLUETOOTH Audio*2 を聞いているとき

CH+ / ▶ を押す。：スキップ (次の曲の頭出し) します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ (再生中や前の曲の頭出し) します。

※ CH+ / ▶、CH- / ◀ の長押しは無効です。

- DVD を見ているとき*2

CH+ / ▶ を押す。：スキップ (次のチャプターの頭出し) します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ (再生中や前のチャプターの頭出し) します。

※ CH+ / ▶、CH- / ◀ の長押しは無効です。

② VOL▲ / VOL▼ スイッチ、+ / - スイッチ

VOL▲ / + を押す。：オーディオ音量が大きくなります。

VOL▼ / - を押す。：オーディオ音量が小さくなります。

VOL▲ / + を長く押す。：連続してオーディオ音量が大きくなります。

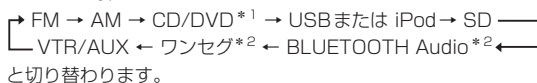
VOL▼ / - を長く押す。：連続してオーディオ音量が小さくなります。

* 1…CD・DVDでのAAC再生はできません。(VXM-145Cの場合、DVDの再生はできません。)

* 2…VXM-145VSi / VSの場合

③ **MODE**、**SOURCE** スイッチ

MODE / **SOURCE** を押す。: スイッチを押すたびに、



MODE / **SOURCE** を長く押す。: Siri Eyes Free機能が起動します。*²

* 1…VXM-145Cの場合は、CDのみです。

* 2…VXM-145VSi / VSの場合

※ USBとiPodは同時に接続できません。

※ iPod(映像あり)とVTRは同時に接続できません。



アドドライブ

- オーディオモード ↔ ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体の **AUDIO** ↔ **現在地** を押して切り替えてください。
- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。
- 以下の場合はそのモードを飛ばします。
 - ・ディスク、SDカード未挿入
 - ・USB / iPod / VTR / AUX / BLUETOOTH Audio 機器未接続

地図ソフトについて

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. 弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。
2. 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
 - (3) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

運転者は、走行中に操作をしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。



運転中は、画面を注視しないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。



一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平23情使、第192-950号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50 mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平23情使、第768-001号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認 11-080)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2012年11月のものを使用しています。

地図ソフトについて

- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2012年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2012年9月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆ 3D交差点…………… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
(1,790交差点、5,770画像)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆ ジャンクションビュー…………… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
(4,120ヶ所、8,260方面)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆ 方面看板…………… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。
(全国の主要交差点)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2012年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2012年11月発行)をもとに作成しています。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元：NTTデータ 予測の基となる情報：JARTIC/VICSセンター)
なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
※本ソフトの収録エリアには2013年9月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICIS に関するお問い合わせ

(一財) 道路交通情報通信システムセンター サービスサポートセンター

電話番号：0570-00-8831

電話受付時間：9：30～17：45(土曜、日曜、祝日を除く)

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

FAX：03-3562-1719

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■ 道路：2012年12月(高速・有料道路)／2012年9月(国道・都道府県道)

■ 交通規制^{※1}：2012年11月

■ 住所検索：2012年11月

■ 電話番号検索：2012年11月

■ 個人宅電話番号検索：2012年8月

■ 郵便番号検索：2012年11月

■ ジャンル検索：2012年10月

■ 高速・有料道路料金^{※2}：2012年11月

■ 市街地図：2012年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。

【VICIS レベル3 対応データ収録エリア】 全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2013年9月時点でVICISサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICISサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2013年9月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2011 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2012 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2012 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2013 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に関するお問い合わせ先

株式会社 ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-210-616

受付時間 9:30～17:30 月～土(祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・PHSからもご利用いただけます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない
場合がございます。

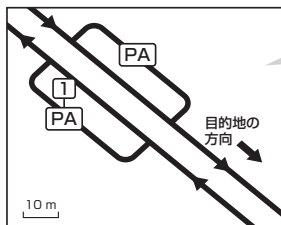
出発地・経由地・目的地の設定について

経由地、目的地の設定の注意点

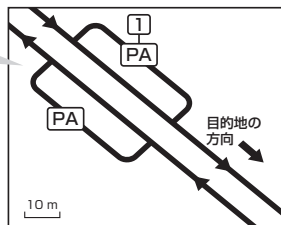
通常周辺検索やジャンル検索などで経由地や目的地を設定しますが、地図で設定する場合は必ず最詳細地図で設定してください。

最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

例) 高速道路のPAに経由地を設定した場合



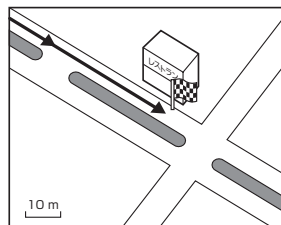
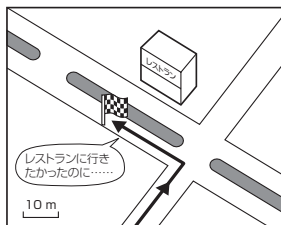
最詳細地図で
見てみると…



目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、目的地方向のPA内にある道路に設定してください。

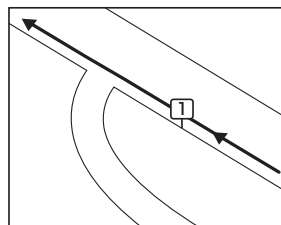
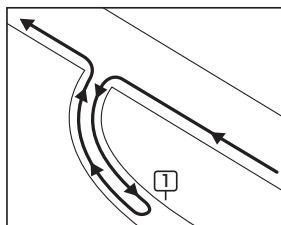
例) 中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合



目的地と逆の車線に設定されたり、遠回りのルートを設定することがあります。

詳細地図で、レストランと道路の境界付近に設定してください。

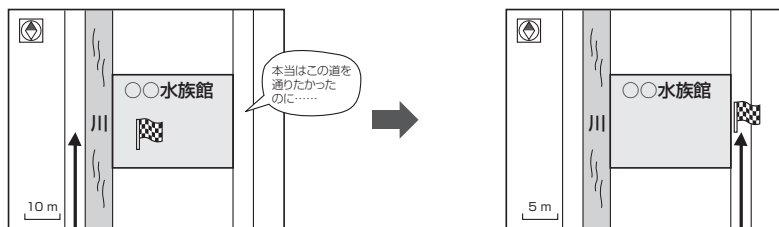
例) 設定したい経由地付近に細街路がある場合



立ち寄りたい地点とは別の道路の上に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、通行したい道路により近い場所に設定してください。

例)「施設の名称で地点を探す」で“〇〇水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合
(駐車場情報がない場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合)



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。



アドバイス

出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

例)希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合



希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。

経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(-----▶)を選ぶことがあります。

ルート案内時の注意点

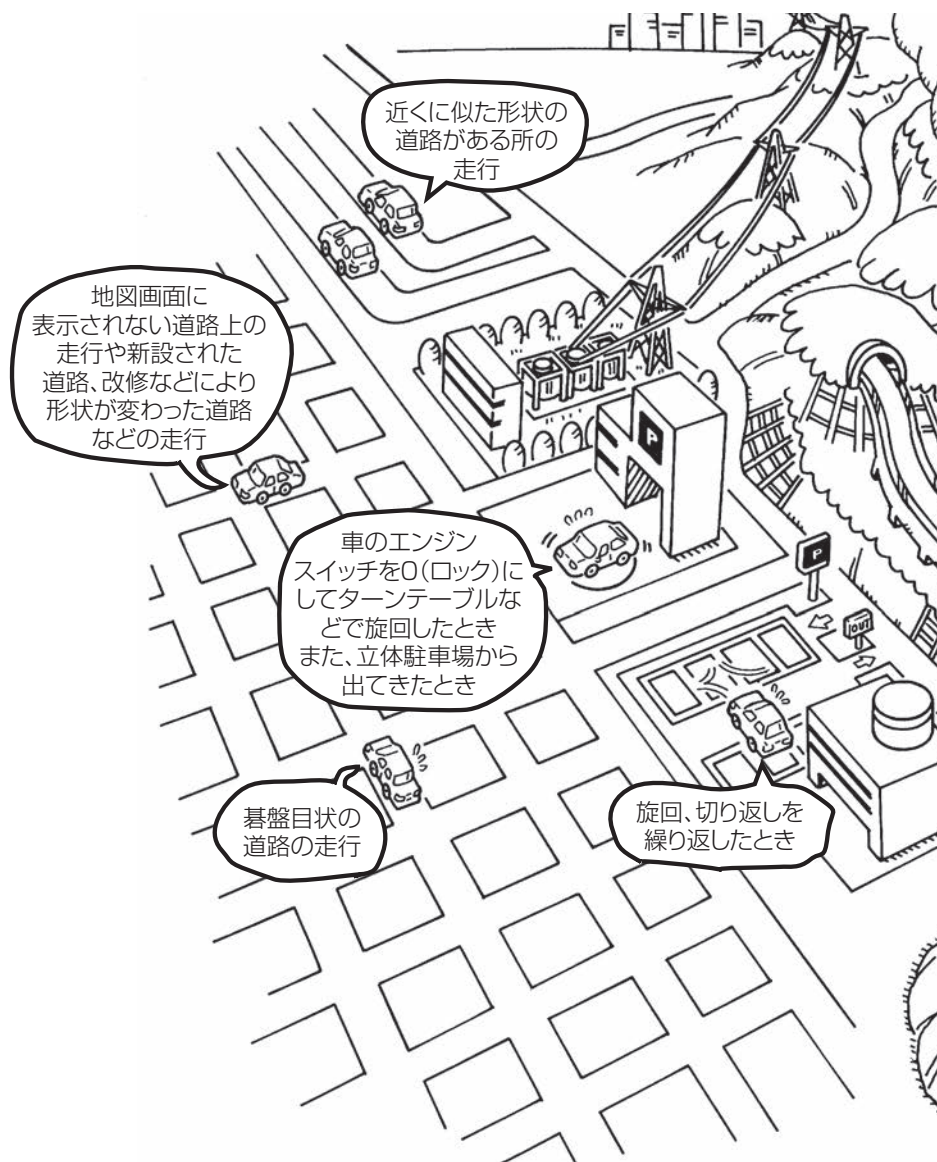
- 表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。
- 道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。
- ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探るか、ルート削除したときにルートは消えます。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。
- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下になることがあります。
 - どこか1カ所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
 - 経由地付近でルートがつかないことがあります。
 - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
 - 距離優先での探索でも、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
 - 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を使用したルートについては、音声での案内は行いません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
 - 細街路から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。
 - 現在地と目的地が遠すぎる場合。
この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
 - 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
 - 極度に迂回したルートしかない場合。
 - その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

● 以下のようなルートが表示されることがあります。

- ルート探索しても、自転車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示されることがあります。
この場合は自転車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自転車マークが正しい道路に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示されることがあります。
修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- **一般優先** に表示をしてルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。
ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや **探索条件** の設定でフェリーを優先 **しない** に設定しても、フェリー航路でのルートが設定されることがあります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

自車マークの表示誤差について

自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

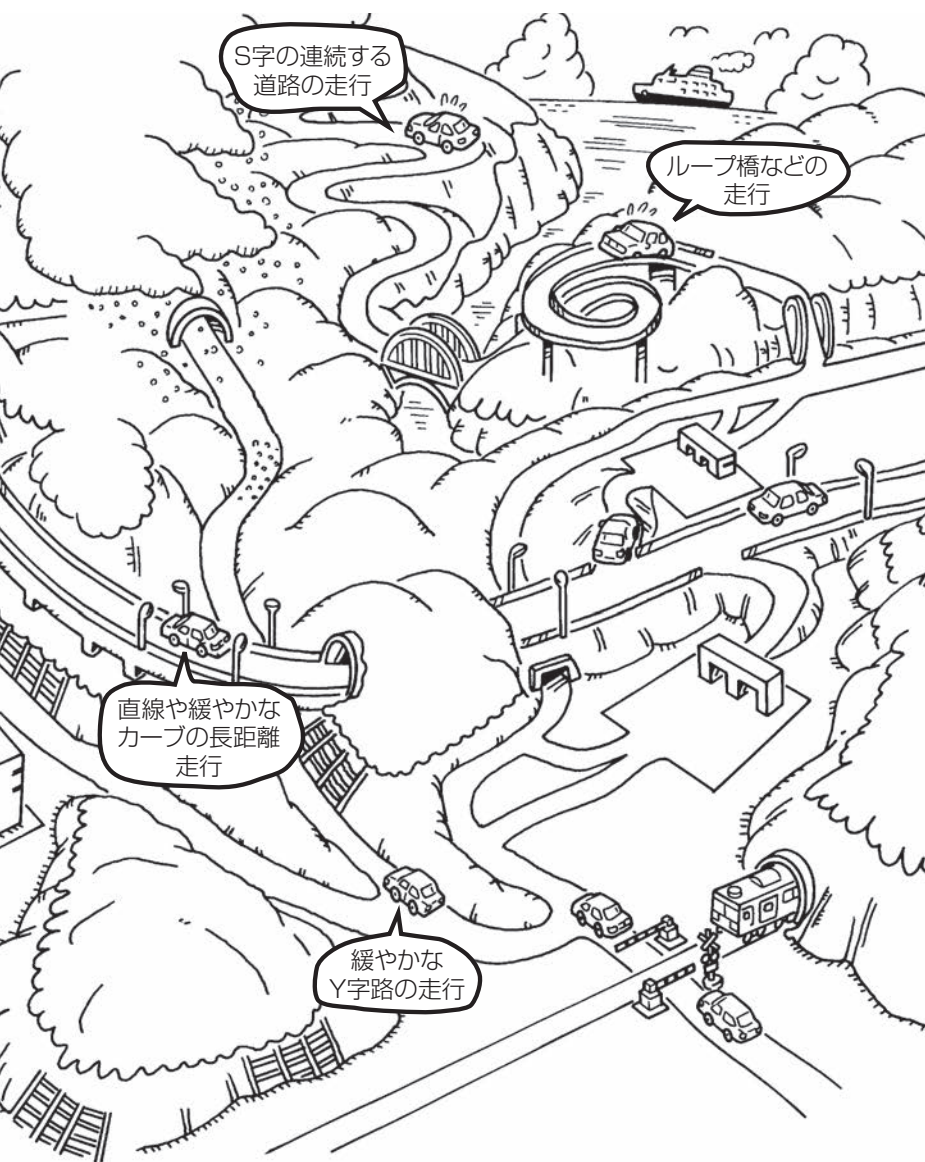




アドバイス

エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

必要なとき



地図に表示される記号

地図表示記号(例)

道路の表示色

青色：高速道路、有料道路

赤色：国道

緑色：主要地方道、県道

灰色：一般道、細街路

青色(破線)：フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

計画道路について

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。



道路色は“地図切り替え”で選んだボタンによって変わります。上記の色は“ノーマル”を選んだときの色を記載しています。

「地図の色を設定する」F-4

立体アイコン(例)



東京タワー



新宿センタービル



神宮球場



松江城



日本武道館



横浜ランド
マークタワー



東京都庁
(第一庁舎)



通天閣



原爆ドーム



JR 東京駅

市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア

90 % 以上収録地域 → 無印、50 % 以上収録地域 → 、50 % 未満収録地域 →

北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町	茨城県 水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町、城里町、大子町、美浦村、八千代町
青森県	三沢市、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町、田舎館村	栃木県 宇都宮市、小山市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、那須町、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、茂木町、岩舟町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢村、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ヶ崎町、平泉町	群馬県 前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、榛東村、吉岡町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村
宮城県	多賀城市、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、角田市、名取市、岩沼市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、登米市、栗原市、東松島市、美里町、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町	埼玉県 川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ヶ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡市、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、八郎潟町	
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町	
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町	

千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村
新潟県	新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、野々市市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町
福井県	福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町
長野県	松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村
岐阜県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸市、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、伊豆の国市、牧之原市
愛知県	名古屋市中区、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市

市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア

90 % 以上収録地域 → 無印、50 % 以上収録地域 → 、50 % 未満収録地域 →

三重県	津市、 松阪市 、 いなべ市 、東員町、 菟野町 、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、 尾鷲市 、 亀山市 、鳥羽市、 熊野市 、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、 多気町 、 明和町 、南伊勢町、 紀北町 、 御浜町 、 紀宝町
滋賀県	近江八幡市 、草津市、 大津市 、 彦根市 、 長浜市 、守山市、栗東市、 野洲市 、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、 米原市 、 高島市 、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、 福知山市 、 舞鶴市 、 綾部市 、宇治市、 宮津市 、 亀岡市 、長岡京市、宇治田原町、 笠置町 、 和束町 、 南山城村 、 京丹後市 、 南丹市 、 大山崎町 、 伊根町 、 与謝野町
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、 福崎町 、太子町、 上郡町 、神戸市、 姫路市 、洲本市、相生市、 豊岡市 、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、 篠山市 、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、 養父市 、 丹波市 、 宍粟市 、朝来市、たつの市、 多可町 、 香美町 、 新温泉町 、加東市、 市川町 、 神河町
奈良県	奈良市、橿原市、 桜井市 、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、 宇陀市 、三宅町、 高取町 、 吉野町 、 大淀町 、 下市町 、 黒滝村
和歌山県	和歌山市、海南市、岩出市、 かつらぎ町 、 湯浅町 、橋本市、有田市、御坊市、 田辺市 、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、 有田川町 、 高野町 、 紀美野町 、 九度山町 、 広川町 、 美浜町 、 日高町 、 由良町 、 印南町 、 みなべ町 、 日高川町 、 上富田町 、太地町、 串本町
鳥取県	鳥取市 、米子市、倉吉市、境港市、 岩美町 、三朝町、日吉津村、 八頭町 、 湯梨浜町 、 琴浦町 、 北栄町 、 伯耆町
島根県	松江市 、 浜田市 、 出雲市 、 益田市 、 大田市 、 安来市 、 江津市 、 雲南市
岡山県	岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、 津山市 、笠岡市、井原市、総社市、 高梁市 、 新見市 、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西栗倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市
広島県	呉市 、尾道市、福山市、 府中市 、府中町、坂町、江田島市、広島市、竹原市、三原市、 三次市 、 庄原市 、 大竹市 、 東広島市 、廿日市市、海田町、熊野町、安芸高田市
山口県	下関市 、宇部市、 山口市 、 萩市 、防府市、下松市、 岩国市 、 山陽小野田市 、 光市 、 長門市 、 柳井市 、 美祢市 、周南市、和木町、平生町、周防大島町、 田布施町
徳島県	徳島市、鳴門市、小松島市、 阿南市 、 吉野川市 、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、 阿波市 、 美馬市 、 三好市 、 つるぎ町 、 東みよし町
香川県	高松市 、 丸亀市 、坂出市、善通寺市、 観音寺市 、さぬき市、東かがわ市、土庄町、 綾川町 、宇多津町、 まんのう町 、 琴平町 、 多度津町 、 三豊市 、 小豆島町 、 三木町
愛媛県	松山市 、 今治市 、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、 西条市 、 大洲市 、 伊予市 、 四国中央市 、 松前町 、 砥部町 、伊方町、久万高原町、西予市、東温市、内子町

高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、梼原町、四万十市、香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町
福岡県	糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、古賀市、那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、うきは市、大刀洗町、刈田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、みやこ町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町
長崎県	佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	熊本市 ^{*1} 、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、大津町、菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町 *1…熊本市南区は50 %以上収録地域になります。
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町

沖縄県	那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、宮古島市、南城市、八重瀬町
-----	--



- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2012年7月です。

細街路(日本全国)探索エリア

細街路(日本全国)を含めたルートの探索を行うことができます。

探索されたルートは細街路中ではピンクで表示されます。



- 狭すぎて、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。
- 運転の際は現地の状況に従ってください。

VICS についてのお問い合わせ

VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)*¹から、FM多重放送*²を使ってリアルタイム*³に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

* 1 (一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

* 2 FM多重放送では広域情報を提供します。

* 3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈サービスエリア〉

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区)、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県で展開されています。(平成24年3月1日現在)

〈情報提供時間〉

FM多重放送は第1、第3日曜日の翌日の月曜日、午前1時～午前5時まで放送を休止する場合があります。

FM多重放送他、VICS情報の提供時間についてはVICSセンターにお問い合わせください。

※ VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈FM文字多重放送の一般情報(番組)の道路交通情報とのちがいについて〉

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、VICSではリアルタイムに情報を提供しています。

〈VICSリンクデータベースの著作権について〉

VICSリンクデータベースの著作権は(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会が有しています。

- VICSリンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICSリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- VICSリンクデータベース：VICSリンクと(一財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICSに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ先 問い合わせ項目	お買い上げの Honda 販売店	VICSセンター
VICSの概念、計画		○
レベル1の表示内容		○
レベル2の表示内容		○
レベル3の表示内容	○	
サービスエリア	○	
受信可否	○	
車載機の調子、機能、使い方	○	

※ VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。

※ VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)

VICSセンター

お問い合わせ窓口 サービス・サポート・センター

電話番号 0570-00-8831

※ PHS、IP電話等からはご利用できません。

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

電話受付時間 平日9:30～17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX番号 (03)3562-1719

FAX受付時間 24時間

URL <http://www.vics.or.jp/index1.html>

※ お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。

※ PHSからはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS 削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICS サービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に1のVICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事中やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表] 視聴料金 300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。

修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共 通

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	▼／▲ (VOL)で調整してください。	—
	音質・音量バランスが片方に寄っている。	フェード・バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合はBALANCEとFADEを“0”に合わせます。	H-14
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
	Siri Eyes Freeが起動中である。*1	Siri Eyes Freeを終了してください。	Q-27
本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、本機を操作してから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	R-12
ディスクを読み込まない。			
タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シートなどが貼ってある。	保護シートなどの種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。	—
音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW／MIDDLE／HIGHになっている。	車速連動音量をOFFに設定してください。	H-19
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本機を長時間使用していた。	長時間使用すると、本機内部の温度が上がってディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はありませんので気をつけて取り出してください。	—
	ディスクを長時間再生していた。		

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

モニター

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	H-10
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	H-13
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。(VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていると画面は明るくなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。	—
DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	H-10
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
液晶パネルに黒点や光る点がある。	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—

自転車マーク関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる。	画面が煩雑(複雑)にならないよう、文字情報の間引き処理を行っています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	—
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	R-6
自転車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地 を押してください。	—
自転車マークが表示されない。			
走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。	故障ではありません。	A-6
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。	アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックスなどを塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。	—
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	R-6
自転車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	しばらく(およそ30km/h以上の速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。	—
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	—

音声案内関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。	D-4
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12
	消音 をタッチして音声を出なくしている。	消音 をタッチして解除してください。	F-18
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールに従って走行してください。	—

目的地／経由地／メニュー項目などが選択または設定できない

症 状	原 因	処 置	参考ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。	－
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。	D-4
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12
ルート探索後、有料道路出入口付近を通過しても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルート上を走行していない。(案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示)	探索されたルート上を走行してください。	－
自動再探索ができない。	道幅が3 m以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行います。	D-17
経由地が設定できない。	すでに経由地を5カ所設定している。	経由地は6つ以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。	－

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	－
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。	－
探索されたルートが途切れて表示される。	探索では、細街路*を使用しないエリアがあるため* ¹ 、現在地または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりすることがあります。	故障ではありません。	－
遠回りな自動ルートを探索する。	探索では、細街路*を使用しないエリアがあるため* ¹ 、遠回りなルートになることがあります。	基本道路(細街路以外の道路)に近づけて設定してください。	－

* 1…政令指定都市、および県庁所在地以外(地図ソフトの更新により変わることがあります。)

※細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
遠回りな自動ルート を探索する。	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	—
	細街路*を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	—
	車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	—
ランドマークの表示 が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。	—
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	—
意図したルートとは 違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	R-36
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	R-36

※細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

VICS 関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
VICS情報(レベル1とレベル2)が表示されない。	VICS情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS) を選んでいない。	交通情報番組(VICS) を選んでください。	—

VICS 関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
VICS 情報(レベル3)が表示されない。	VICS 情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS) を選んでいない。	交通情報番組(VICS) を選んでください。	—
	地図の縮尺スケールが拡大されている。	地図の縮尺スケールを 1 km 以下にしてください。	B-7
一般情報が表示されない。	一般情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	一般情報番組 を選んでいない。	一般情報番組 を選んでください。	—

カメラシステム関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
フロント・コーナーカメラ映像が出ない。	高速で走行している。	低速で走行してください。	—
リアカメラ映像が出ない。	セレクトレバーが R の位置になっていない。	セレクトレバーが R(リバース)の位置になっているか確認してください。	—
カメラ映像の映りが悪い。	レンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。	—
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。	CCD カメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。	—
	車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。		
カメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が設定されていない。	Honda 販売店で車種にあわせた設定と調整を行ってください。	—
	ガイド表示が“OFF”になっている。	コーナーカメラのガイド表示の場合は、画面をタッチして ガイドON をタッチしてください。	G-14
		リアカメラのガイド表示の場合は、セレクトレバーが R(リバース)の位置になっている状態で画面をタッチし、 ガイドON をタッチしてください。	G-18
	フロントカメラはガイドを表示しません。	—	—
カメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	Honda 販売店での調整が必要です。	—
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合は Honda 販売店にご相談ください。	—

ラジオ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	I-3
放送局リスト選局でリストが自動で表示されない。	トンネルの中など放送局の電波が弱い。	場所を移動し、手動でリスト更新してください。	I-6
“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	—
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。	—
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声流れない。* 1	iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している。	iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod／iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り替えてください。	—
正常に動作しない。	接続不良。	USB接続ジャックに、iPod(と別売のiPod接続コード)を確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	L-13
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	—
	iPodが正常に動作していない。	iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善場合があります。	—
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。	オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れてください。	H-3、 L-13

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ビデオ再生しない。 (映像がでない。)	ケーブルを正しく接続していない。 または iPod 本体に付属のケーブル を使用している。	音声・映像を再生させる(出力させる)には、別売の iPod 接続コードに別売の USB 接続ジャックと VTR コードを全て接続する必要があります。	L-13
選択できないビデオがある。	アーティスト名、アルバム名などの タイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。	—
ビデオが途中から再生する。	各動画コンテンツごとにリジューム 情報を iPod 本体がおぼえています。	リジューム情報をおぼえないようにするには、iPod に付属の iTunes ^{*1} で再生位置を記録のチェックを OFF にしてください。	—
ビデオ再生ができない。	iPod がビデオ再生に対応していない。	Lightning ケーブルで接続する iPod / iPhone では、ビデオ再生できません。	—
	iPod のソフトウェアバージョンが古い。	iPod のソフトウェアを本機で対応しているバージョンにしてください。	—
	別売の iPod 用接続ケーブルで接続 されていない。	ビデオ再生するには、別売の iPod 用接続ケーブルで接続してください。	—
ジャンルが正しく表示されない。	iPod / iPhone が間違ったデータを送信している。	iPod / iPhone の機種 / バージョンによって発生することがあります。iPod / iPhone のソフトウェアを最新バージョンにしてください。	—
再生中のタイトルが正しく検索されない。	iPod / iPhone が間違ったデータを送信している。	iPod / iPhone の機種 / バージョンによって発生することがあります。iPod / iPhone のソフトウェアを最新バージョンにしてください。	—
	タイトル情報が入っていない曲を検索している。	タイトル情報が入っていない曲は iPod / iPhone の機種 / バージョンによっては検索ができない場合があります。	—

* 1…アップル社が開発および配布している動画および音楽再生・管理ソフト

CD・MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CDに切り替わらない。	ディスクが挿入されていない。	ディスクを挿入してください。	—
● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ● 音が飛んだり音質が悪い。	ディスクの不良。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。	R-12
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているところしたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまうおそれがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと言切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
ディスクが入らない。	結露している。	本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	● 本体を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がリ、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

CD・MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3／WMA ファイルを再生できない。	CD-DA データと MP3 ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DA データと MP3 ファイルが混在している場合、MP3 ファイルは再生できません。	—
	MP3 ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録された MP3／WMA ファイルにしてください。	R-24
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMA ディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA 以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	ディスクを交換してください。 (MP3 形式でないファイルに「.mp3」、WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けた CD-R、CD-RW を再生しないでください。)	—
聞きたい MP3／WMA ファイルが見つからない。	MP3 ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	MP3／WMA ファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW 書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの説明書でご確認ください。	—

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USB機器未接続。	SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。	—
再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)していない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)してからファイルを入れて再生させてください。	G-24
	本機で再生できないSDカード／USB機器を挿入／接続している。	再生可能なSDカード／USB機器を挿入／接続してください。	K-7
		対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。	R-22、 R-26
	動作モードが間違っている。	再生したい動作モードを選んでください。	H-9
	結露している。	SDカードを取り出してエンジンを切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。対応していないデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	拡張子を確認してください。	R-22、 R-26
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	SD / USB機器書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SD / USB機器へ書き込み際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	—
MP3 / WMA / AAC ファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3 / WMA / AACファイルにしてください。	R-22
	「音楽ファイル」モードになっていない。	モード切替 で「音楽ファイル」モードに切り替えてください。	H-9

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3 / WMA / AAC ファイルを再生でき ない。	著作権保護された音楽データで記録 されている。	著作権保護された音楽ファイル(SD- Audio規格など)は再生できません。 対応しているファイル形式で記録さ れたMP3 / WMA / AAC ファイル を再生してください。	—
	SD-Audioで録音された音楽を再生 しようとした。		
JPEG ファイルを再 生できない。	対応していないファイル形式で記 録されている。	対応しているファイル形式で記録さ れたJPEG ファイルにしてください。	R-26
	「画像ファイル」モードになってい ない。	モード切替 で「画像ファイル」モード に切り替えてください。	H-9
AAC ファイルを再生 できない。	AAC ファイルに画像データ(iTunes のワークを除く)、映像デー タが混在しているSDカードまたは USB 機器を再生しようとした。	AAC ファイルに画像データ(iTunes の ワークを除く)、映像データ、そ の他音楽データでないものが含まれる 場合 AAC ファイルは再生できません。	—
MP3 / WMA / AAC 再生時にエラーメッ セージが表示される。	Mac で作成したファイルをSDカー ド / USB フラッシュメモリで再生 している。	Mac でファイルを作成すると、作成 したファイルと一緒に隠しファイル が作成されます。そのファイルを一 緒にフォルダの中にコピーしてい ると、再生時にエラーが発生します。 使用するSDカード / USB フラッ シュメモリから隠しファイルを削除 してください。	—
USB 機器を認識して いない。	対応していないUSB機器の可能性 があります。	別のUSB機器で試してください。	—
	USB 機器が正しく接続されてい ない。	正しく接続されているか確認して ください。	K-7
	USB 接続ジャックが正しく接続さ れていない。	Honda 販売店にお問い合わせくだ さい。	—
ジャケット写真が 表示できない。	MP3 / WMA / AAC ファイルに ジャケット写真が登録されてい ない。	iTunes、Windows Media Player などのアプリケーションを使用して、 パソコンでジャケット写真を登録し てください。	—
	登録する画像が対応していない ファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録さ れたJPEG ファイルを使用してくだ さい。	—
	登録されているジャケット写真の 画像サイズが大きい。	MP3 / WMA / AAC ファイルに登 録されているジャケット写真の画像 サイズが大きいと表示できない場合 があります。 小さい画像サイズのジャケット写真 を登録してください。	R-23
	1つの音楽ファイルに複数のジャ ケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画 像のみ登録してください。	—

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3 / WMA / AAC ファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	—
ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—

- 対応ファイル形式については「「音楽ファイル(MP3 / WMA / AAC)について」R-22 / 「画像ファイル(JPEG)について」R-26 / 「動画ファイル(MPEG4 / H.264)について」R-26

DVD * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕が出ない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。 字幕が収録されているか確認してください。	—
	字幕がOFFになっている。	設定を変えてください。	N-13、 N-20
音声が出ない。	静止画、コマ戻し / コマ送り、スロー戻し / スロー送り中である。	静止画、コマ戻し / コマ送り、スロー戻し / スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	R-12
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部に付まって故障の原因になりますので使用しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	R-13
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。 リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	—

* 1…VXM-145VSi / VSの場合

DVD * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
再生を始めない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	N-24
“⊙” (禁止マーク) を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	R-12
	振動の生じるところで使用している。	本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。	故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	N-24

DVD * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	—
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	—
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語” が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語” を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。	N-20
VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクのファイナライズ処理をしてください。	—

ワンセグ * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	—
	字幕表示の設定がされていない。	字幕表示を設定してください。	O-20
受信できない。	● 走行地域が放送エリア外で、エリア変更が手動に設定されている。 ● 放送エリア内にいない。	視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。	O-8
		地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。お車の走行地域で放送が開始されているか確認してください。また、放送エリア内に移動してください。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。	本機に付属の地上デジタルTV用フィルムアンテナ以外を接続されている場合、お持ちの取扱説明書に従って正しく設定してください。	—
映像が止まったりモザイクがかかる。	周りに障害物があるなど、電波状態が良くない。	受信状態が良くなると映像が止まりにくくなります。受信できる場所に移動してください。	—
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。	—

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

ワンセグ* 1

症 状	原 因	処 置	参考ページ
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	● 初期化を行った ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

BLUETOOTH Audio* 1

症 状	原 因	処 置	参考ページ
BLUETOOTH Audio 対応機器が接続できない。	本機との接続情報が消えてしまう。	再度登録してください。	—
	BLUETOOTH Audio 対応機器の設定が、BLUETOOTH 接続待ちの状態になっていない。	BLUETOOTH Audio 対応機器の説明書をご確認ください。	—
	本機から接続を受けつけない。		
	特定の状態(例：携帯電話でのミュージックプレイヤーの起動中)でしか接続できない。		
音楽が流れない。	BLUETOOTH Audio の音声転送プロファイルである、A2DP が接続されていない。	BLUETOOTH Audio 対応機器が A2DP に対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。	—
		BLUETOOTH Audio 対応機器の仕様によっては、A2DP に対応していても音楽が流れない場合があります。	—
BLUETOOTH Audio 対応機器の操作を本機からできない。	BLUETOOTH のリモコン操作プロファイルである、AVRCP が接続されていない。	BLUETOOTH Audio 対応機器が AVRCP に対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらずリモコン操作ができない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。	—
		BLUETOOTH Audio 対応機器の仕様によっては、AVRCP に対応していてもリモコン操作ができない場合があります。	—
● 音が飛ぶ。 ● 操作がおくれる。 ● 再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる。	BLUETOOTH Audio 対応機器が本機から離れすぎている。	BLUETOOTH Audio 対応機器を本機に近づけてください。	—
	ハンズフリー、データ通信などを行っている。	故障ではありません。 通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。	—

* 1…VXM-145VSi / VS の場合

BLUETOOTH Audio * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
リストが操作できない。	接続機器がリスト表示機能に対応していない。	AVRCP1.4 に対応した機器を使用してください。	—
		BLUETOOTH Audio対応機器によってはAVRCP1.4に対応していても、リスト表示ができない場合があります。	—

ハンズフリー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ビルの谷間などで音声が乱れる。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさざぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声がブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
音が出ない。 ●相手の声が聞こえない。 ●着信音が聞こえない。	音量が最小になっている。	発着信音量、受話音量を調整してください。	Q-11
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		携帯電話の電波状態を確認してください。	
相手に声が伝わらない。	送話音量を下げているまたは音声を消している。(ミュート中)	送話音量を上げるか、ミュートを解除してください。	Q-11、 Q-16
通話後、オーディオの音が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。	音量を上げてください。	—
携帯電話と接続できない。	BLUETOOTHで携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBLUETOOTH機能をONにするか、車のエンジンスイッチを0 (ロック)→Ⅱ (ON)にしてください。	—
	BLUETOOTH対応携帯電話機を使用していない。	対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	R-21 アドバイス
Siri Eyes Free が起動しない。* 1	対応機器が接続されていない。	Siri Eyes Freeに対応しているiPhoneをハンズフリー登録してください。	Q-2
	接続機器が利用できない状態になっている。	iPhoneのSiri機能をオンにしてください。	—
		本機とiPhoneのBLUETOOTH接続を一度OFFにし、再度接続を行ってください。	—

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

メッセージ表示について

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

必要なとき

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1／レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。	—
“情報の受信中です。”(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。(受信感度は良い)	受信できるまでしばらくお待ちください。	—
“サーチ中は登録できません。”(FM多重)	放送局のサーチ中に、 未設定 を長押しして登録しようとした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	—
“放送局は登録されていません。”(FM多重)	放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチした。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は動きません。	E-11
“情報を受信していません。”(FM多重)	受信エリア外に居る。	受信エリア外では、受信できません。	—
	受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できない。	場所を移動してみてください。	—
	放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	—
	VICS放送局を受信しているが、一般情報を受信する設定になっている。	交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。	E-3
	VICS放送局でも、一般情報放送局でもない放送局(周波数)を受信している。	全てのFM放送局が交通情報／一般情報を放送しているわけではありません。交通情報／一般情報を放送している放送局を受信してください。	E-8
“この情報は表示できません。”	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとした。	安全な場所に車を止めてから操作をしてください。	—

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“SDカード内に位置情報ファイルが見つかりません。”	SDカード内に該当するデータがない。	指定のホームページからデータを書き込みしてください。	F-29
“SDカード再生中は操作できません。再生を停止しますか？”	オーディオでSDカードを使用している。	オーディオを終了してください。	H-3
“SDカードを読めませんでした。SDカードが挿入されているか確認してください。”	SDカードが差し込まれていない。	車のエンジンスイッチをO(ロック)にし、SDカードを確実に差し込み、車のエンジンスイッチをII(ON)にしてください。	A-14
	SDカードが挿入されていない。	指定のホームページから地点／ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。	F-29
	SDカードは挿入されているが、認識できていない。	SDカードがこわれている可能性があります。別のSDカードを挿入してください。	—
“ETCカードを確認してください”	ETCカードが故障、またはETCカードではないカードが挿入されている。	正常な状態のETCカードを挿入してください。	—
“ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください”	ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができない。	Honda販売店にご相談ください。	—
“ETCカードが挿入されていません”	カード入れ忘れ警告の設定を する に設定しているときに、ETCカードを挿入しないで、本体を起動させた。	ETCカードを挿入してください。	—
“ETCユニットがセットアップされていません”	ETC車載器本体がセットアップされていない。	ETC車載器本体を正しくセットアップしてください。	—
“ETCカードの有効期限が切れています ETCがご利用できません”	カード有効期限内案の設定を する に設定しているときに、有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にした。	有効期限の切れていないETCカードを挿入してください。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“リージョンコードが違います。”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	—
“視聴制限により再生できません。”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。	N-24
“入力されたパスワードが間違っています。”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	N-24
“走行中は映りません。”	走行中にDVD／ワンセグ／VTR／iPodの映像を見ようとした。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	● 本機で再生できないディスクを入れている。 ● ディスクが逆に挿入されている。 ● ディスクに汚れ／異常がある。 ● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。 ● VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。	● 本機で再生できるディスクを入れてください。 ● ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まへのディスクに異常がある可能性があります。 ● 正しいディスクをセットしてください。 ● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。	—
“ディスクを入れてください。”	ディスクが入っていない。	本機で再生できるディスクを入れてください。	—
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“再生可能な曲がありません。”	SDカードに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがない。	再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	R-22
	USB機器に再生可能なMP3／WMA／AACファイルがない。	再生可能な音楽ファイルが入ったUSB機器を接続してください。	R-22

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読み込み中です。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	ファイル数が多いSDカード／USB機器の場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	しばらく待ってから電源をOFFにし、SDカード／USB機器を一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。	H-3
“SDカードを挿入してください。”	SDカードが差し込まれていない。	再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	H-3
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	電源をOFFにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。	
“信号が受信できません。[202] 中継局を探しますか？”	放送エリア外にいる。	放送エリア外では受信できません。放送エリア内に移動してください。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪い。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。	—
	アンテナの故障が考えられる。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。	O-21
	車の走行速度が速い。	法定速度内でも受信できない場合があります。スピードを落としてください。	—
	パソコンや携帯電話などを使用している。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できない。	一般社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。	—
“バスキーが一致していません。再度登録操作を行ってください。”	入力したバスキーが本機に設定されているバスキーと異なる。	本機に設定されているバスキーを確認のうえ、正しいバスキーを入力してください。	Q-3、Q-9

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“使用できないSDカードが挿入されています。”	対応していないSDカードが挿入されている。	別のSDカードで試してください。	—
	SDカードを正しくフォーマットしていない。	本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行ってください。	G-24
“ビデオモードに対応していません。”	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。	ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。	—
“USB機器を接続してください。”	USB機器が接続されていないまたはiPodが接続されている。	本機に対応しているUSB機器を使用してください。	R-17
“対応していない機器が接続されています。”	非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されている。		
“携帯電話の接続が解除されました。”	携帯電話との接続が切れた。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		対応している電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	R-21 アドバイス
“登録できませんでした。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	Q-9
	他のBLUETOOTH機種からの登録が行われている。	ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。	—

用語説明

DRM(デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルの複製を制限することで不正利用を防ぎます。著作権保護された楽曲を再生するには、著作権保護に対応した機器で再生する必要があります。iTunes Storeやmora winといった音楽配信サイトで購入できる楽曲は著作権保護されているものがあります。

ID3タグ／WMAタグ

MP3 ファイル、WMA ファイルには、ID3 タグ、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3 タグ、WMA タグに対応したプレイヤーでID3 タグ、WMA タグ情報の表示・編集が可能です。

Joliet

Microsoft 社が開発したCD 上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Joliet ではスペースを含む最大64 文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

LB(レターボックス)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4：3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

SDHC

SD アソシエーションによって規格化されたSD メモリーカードの上位規格で、4 GB 以上の記録が可能。転送速度も高速化され、「CLASS2 (2 MB/s)」「CLASS4 (4 MB/s)」「CLASS6 (6 MB/s)」「CLASS10 (10 MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

SDカード

小型、軽量のIC 記録メディアです。“SD カード” 対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1 枚の“SD カード” に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VTR

市販のVTR 機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。VTR 端子から入力された映像や音は、VTR ソースに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、おもに4：3と16：9の2種類があります。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行うソフトウェアをエンコーダと呼びます。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

カスタマイズ

お客様の好みや使いかたにあわせて機能を設定しなおすことです。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行うかを表す数値のことです。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。

受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)

セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。

また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言い、プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行います。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

デバイスアドレス

機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス(12桁の英数字)です。パスキー入力を行って接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

パスキー

BLUETOOTH接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。BLUETOOTH機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの数字(パスキー)を入力する必要があります。

パラメーター

プログラムの動作を決定する数値や文字を表します。

パン&スキャン(P&S)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(MP3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

マストストレージクラス

正式名称はUSBマストストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。
例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行われます。

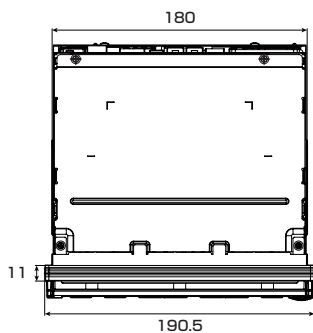
ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層ディレクトリにあるフォルダのことをさします。

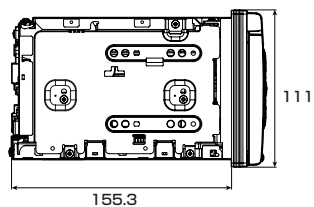
構成内容

外形寸法図(単位 : mm)

本体

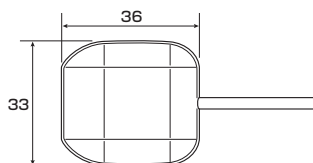


[平面図]

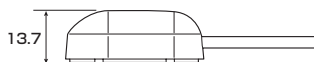


[左側面図]

GPS アンテナ



[平面図]



[側面図]

主な仕様

必要なし

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
画面サイズ	7 V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ部^{*1}

受信チャンネル	UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPS アンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	-145 dBm
位置更新時間	0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリー フォーマット

CD部

周波数特性	20～20,000 Hz
S/N比	75 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～90.0 MHz AM 522～1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S/N比	FM 55 dB(30 kHz L.P.F.使用) AM 50 dB(30 kHz L.P.F.使用)
ステレオ セパレーション	FM 30 dB(30 kHz L.P.F.使用)
歪率	FM 0.3 % AM 0.5 %

DVD部^{*1}

対応ディスク	DVD ビデオ
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
周波数特性	20 Hz～20,000 Hz
S/N比	80 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)
ダイナミック レンジ	80 dB以上

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
GPS アンテナ入力端子	GPS コネクター
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	3ピン専用コネクター (ラジオ入力端子と共用)
ETC 端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	8ピン専用コネクター
フロント/コーナーカメラ接続端子	7ピン専用コネクター
USB 端子	4ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
地上デジタルテレビアンテナ入力端子 ^{*1}	GT13専用コネクター
マイク入力端子 ^{*1}	ミニジャック
LUF入力端子 ^{*2}	4ピン専用コネクター

その他

供給電源電圧	DC12 V
最大出力	45 W×4 ch(15.2 V)
外形寸法	190.5×111×166.3 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	{VXM-145VSi} 2.3 kg {VXM-145VS} 2.3 kg {VXM-145C} 2.4 kg

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

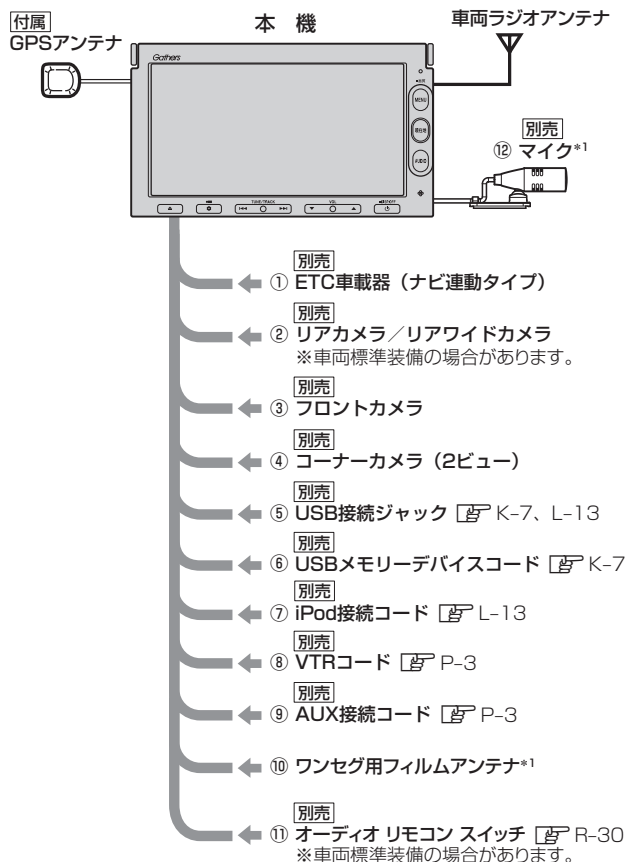
※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

※モニター部の画面サイズのV型(7 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

* 1…VXM-145VSi/VSの場合

* 2…VXM-145VSiの場合

別売品(システムアップ)について



① ETC 車載器(ナビ連動タイプ)

② リアカメラ/リアワイドカメラ

③ フロントカメラ

④ コーナーカメラ(2ビュー)

⑤ USB 接続ジャック

USB 機器やiPodを再生する場合に必要です。

⑥ USB メモリーデバイスコード

⑦ iPod 接続コード

iPodを再生させる場合に必要です。

⑧ VTR コード

市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。

※iPodで映像を再生させる場合にも必要となります。*¹

⑨ AUX 接続コード

市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。

⑩ ワンセグ用フィルムアンテナ*¹

地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)を受信する場合に必要です。

⑪ オーディオ リモコン スイッチ

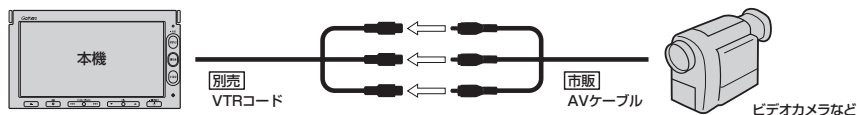
⑫ マイク*¹

※マイクを付けると、内蔵マイクは無効になります。

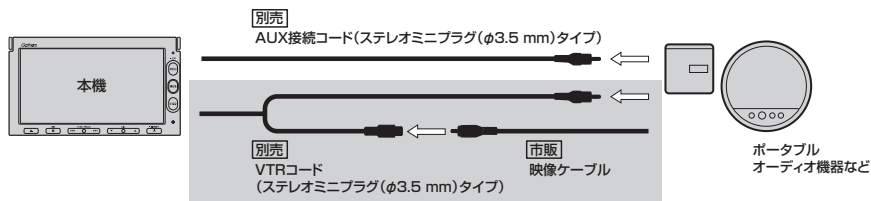
*¹…VXM-145VSi/VSの場合

※本機で利用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

■ ビデオカメラなどを使う



■ ポータブルオーディオ機器などを使う

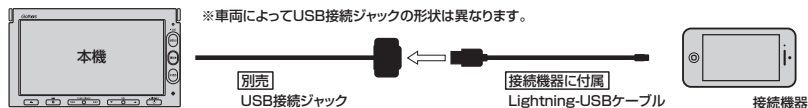


■ iPod / iPhoneを使う

Lightning コネクタの場合

※ビデオ再生には対応していません。

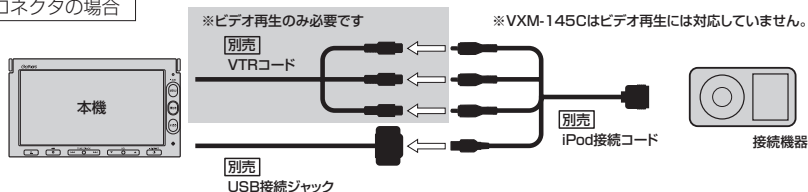
※車両によってUSB接続ジャックの形状は異なります。



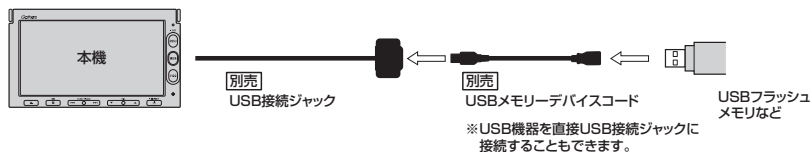
Dock コネクタの場合

※ビデオ再生のみ必要です

※VXM-145Cはビデオ再生には対応していません。

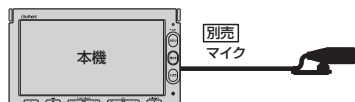


■ USB 機器を使う



■ Siri Eyes Freeを使う

※VXM-145CはSiri Eyes Free機能には対応していません。



※接続コード類の仕様は変更となる場合があります。

保証／アフターサービスについて

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、本書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき …… 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

商標など

- BLUETOOTHおよびBLUETOOTHロゴは、米国 Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
-  はDVD フォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。
-  ETCは一般財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。
- VXM-145VSiおよびVXM-145VSはドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- "NaviCon" は株式会社デンソーの登録商標です。
-  およびマップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- VXM-145VSiおよびVXM-145VSはコピー防止機能を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されており、分解したり、改造することも禁じられております。
- VXM-145VSiおよびVXM-145VSは、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- VXM-145VSiおよびVXM-145VSは、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報をMPEG-4 Visual規格に準拠して(以下、MPEG-4ビデオ)記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオ、または、MPEG LAからライセンスを受けた提供者から入手したMPEG-4ビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Made for



iPod



iPhone

- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, iTunes, Siri and Siri Eyes Free are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning is a trademark of Apple Inc.
- iOS 商標は、米国 Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。

商標など

-  vic[®] は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT 東日本および NTT 西日本の商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- VXM-145VSi および VXM-145VS は株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。

NetFront[®] Browser

- ・ ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標、または商標です。
© 2013 ACCESS CO.,LTD. ALL rights reserved.
- 本機は ARIB (電波産業会) 規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

あ 行

アフターサービス	R-82
案内スタート	D-12
案内ストップ	D-12
イコライザー設定	H-16
イコライザー表示	I-2, J-2, K-2, L-2, M-8
一般情報(FM多重放送)	E-6
一般情報放送局(FM多重放送)	E-6
一般優先	D-3, D-11
迂回探索	D-16
映像調整(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い調整)	H-10
映像の表示について	H-2
エリア更新/エリア選局/エリア表示(FM/AMソース)	I-5
オーディオ リモコン スイッチ	R-30
オーディオをOFFする	H-3
オプションボタンの設定をする	G-2
主な仕様	R-79
音楽/画像/動画の切り替え	H-9
音質(イコライザー調整)	H-16
音声案内について	R-10
音声案内の音量調整(ナビゲーション)	F-18
音声案内の詳細設定(ナビゲーション)	F-18
高速走行時の音声切替	F-19
合流案内/踏み切り案内	F-19
専用レーン案内	F-19
VICS案内	F-20
音声案内をやめる(ナビゲーション)	F-18
音声はそのまま画面を消す	H-13
音声はそのままナビゲーションを表示する	H-9
音量調整(オーディオモード)	H-8

か 行

カーマーク設定	F-15
外形寸法	R-78
回転ボタン	K-9
各部のなまえとはたらき	
BLUETOOTH Audio	M-8
CD・MP3/WMA	J-2
DVD	N-2
FM/AM	I-2
iPod	L-2
SD	K-2

USB	K-2
VTR/AUX	P-2
パネル部	A-11
ワンセグ	O-2
画質調整	H-10
初期値に戻す	H-13
画像再生(USB/SD機器)	K-8
画像ファイル	K-8
画像を回転させる/リストより画像を選ぶ	K-9
スライドショーを表示する	K-8
画像ファイル(JPEG)について	R-26
カメラ	
フロントカメラ/コーナーカメラ設定	G-10
リアカメラ映像設定	G-17
画面を消す	H-13
キー操作音設定	G-23
軌跡	
削除する	F-32
表示/非表示	F-31
季節連動	F-4
基本操作	
SDカードを入れる/取り出す	A-14
映像の表示について	H-2
オーディオをOFFする	H-3
ソース選択	H-2
ディスクを入れる/取り出す	A-14
距離優先	D-3, D-11
クイック ルート探索	D-2, D-6
経由地に設定	D-9
経由地の入れ替え	D-10
経由地の変更/削除	D-10
経由地をスキップする	D-14
経由地を追加	D-9
現在地表示	B-8
現在地マーク	
位置を変更する	F-16
マークの種類を設定する	F-15
現在のルートを表示	D-12
交通情報	I-8
交通情報(VICS情報)	E-3, E-4
交通情報(VICS情報)表示レベル	E-4
コーナーカメラ映像を表示する	G-10
故障かな?と思ったら	R-52
個人情報の取り扱いについて	R-5
コピー防止機能付CD	R-14
小文字に変換	A-16

さ 行

再生できるディスク	R-13
再生モード	H-5
再探索	D-17, D-18, D-20
削除	
軌跡を削除	F-32
自宅を削除	F-28
ハンズフリー	
・携帯電話を削除	Q-5
・発着履歴を削除	Q-24
評価履歴を削除	E-17
サラウンドの設定	H-18
サンプリング周波数	R-24
市街地図	
収録エリア	R-44
時間規制道路を考慮	D-20
時間運動	F-4
自車マーク	
位置を変更する	F-16
種類を設定する	F-15
システムアップ(別売品)	R-80
施設詳細	C-4
施設情報	
ジャンルから探す	C-12
周辺にある施設から探す	C-8
表示できる施設	C-10
名称で探す [名称 50 音]	C-2
自宅	B-12, D-6, G-2
自宅の位置修正	F-27
自宅登録	B-12
自宅へのルートを探索	D-6
自動再探索の設定	D-18
絞込み	C-6
車速運動音量設定	H-19
ジャンクションビュー(JCTビュー)	F-10
ジャンル(ナビゲーション)	C-12
住所検索	C-6
渋滞情報	E-5
渋滞地点	D-14
周辺施設検索	C-8
出発地・経由地・目的地の設定について	R-36
出発地に設定	D-7
出発地の変更	D-7
仕様	R-79
詳細情報ボタン	D-12

初期化

チャンネルリスト/プリセットリストを クリアする	O-18
登録データの初期化	G-24
ワンセグの設定の初期化	O-22
初期設定一覧	R-2
初期登録設定 (BLUETOOTH Audio)	M-2
自律航法とマップマッチング	R-7
スクロール(ナビゲーション)	B-5
スマートIC	D-18, D-20
スモール運動	F-4
スライドショー	K-8
設定	

ナビゲーション

・3D 表示の角度調整	F-3
・AUDIO 情報の表示設定をする	F-5
・ETC の各機能設定	G-7
・MAPCODE の表示設定をする	F-5
・VICS 表示設定	F-17
・緯度・経度の表示設定をする	F-5
・キー操作音の設定をする	G-23
・現在地(自車)マークの種類を設定する	F-15
・現在地(自車)マークの位置を変更する	F-16
・車速運動音量設定	H-19
・地図情報の表示設定をする	F-5
・地図色を設定する	F-4
・登録地点の表示設定をする	F-5
・平均時速を設定する	F-20
・メイン画面設定	F-2
・メンテナンス情報設定	G-3
・ランドマーク表示の設定をする	F-14
・リアカメラ映像設定	G-17
・ルート案内画面の設定をする	F-7
ハンズフリー初期登録設定	Q-2
ワンセグ	
・音声と字幕設定	O-20
・中継・系列局サーチ設定	O-19
設定ルート	D-12

選局

VICS	E-8
ラジオ	I-3
ワンセグ	O-12

選曲

タッチパネル部	
・BLUETOOTH Audio	M-9
・CD・MP3/WMA	J-3
・iPod	L-3
標準キーのボタンで選曲する	H-4
選曲モード	K-5, L-4, M-10
ソース選択	H-2

た 行

代表地点	B-12
探索開始	D-4, D-8
探索条件	D-3, D-11, D-18
地図	
市街地図の収録エリア	R-44
地図画面の表示について	A-6
地図ソフトについて	R-32
地図に表示される記号	R-42
地図の色を設定する	F-4
表示(方位)を切り替える	B-4
見かた	B-2
右画面に地図を表示する	B-14
地図を拡大／縮小する	B-7
地図をスクロール(地図を動かす)	B-5
地点	
位置修正	F-27
削除する	F-28
登録する	B-13
並び替えをする	F-25
編集	F-21
地点を探す	
緯度・経度から	C-19
施設のジャンルから	C-12
住所から	C-6
周辺にある施設から	C-8
地図から	C-18
電話番号から	C-4
登録地点から	C-16
マップコードから	C-17
名称から	C-2
郵便番号から	C-18
地名入力	C-6
昼夜切替	H-12
著作権について	A-8
続きメモリー機能(DVD)	N-4
ディスクを入れる／取り出す	A-14
ディスプレイの角度調整	A-14
データを初期化	
SDカード／学習結果／出荷状態に戻す	G-24
ハンズフリー(アドレス帳)	Q-22
テナント情報	B-11
デモ走行	D-15
デモ走行中止	D-15
動画ファイル(MPEG4／H.264)について	R-26
動作モード(音楽／画像／動画)切替	H-9
盗難多発地点案内	F-13
道路切替	B-10

登録

携帯電話登録	Q-2
地点を登録する	B-13
登録地点の編集	F-21
並び替えをする	F-25
登録ルート	B-9, D-13
道路メイン(地図カスタマイズ)	F-4
独立情報番組(FM多重放送)	E-6
時計表示	H-8

な 行

ナビゲーション画面を表示する	H-9
ナビ設定	F-1
入力	
文字／数字の入力方法	A-16

は 行

パーソナルHPと同期	F-30
ハイウェイモード	B-15, F-9
パスキー(BLUETOOTH)	M-2, M-6, M-7
バックライト(画面を消す)	H-13
早戻し／早送り	H-4
ハンズフリー	
BLUETOOTH情報を見る	Q-9
初期登録設定	Q-2
・携帯電話登録	Q-2
・携帯電話のメモリを本機に登録する	Q-12
・携帯電話の割り当てを切り替える	Q-6
・自動接続設定	Q-7
・通話設定(音量の設定)	Q-11
・デバイス名／パスキー変更	Q-9
・優先接続設定	Q-8
通話中に地図画面を表示する	Q-24
電話を受ける	Q-14
・着信音量設定	Q-14
・通話拒否(終了)	Q-16
・通話切替(携帯⇄カーナビ)	Q-17
・電話に出る	Q-14
・トーン入力する	Q-18
・保留にする	Q-15
・ミュートする	Q-16
電話をかける	Q-19
・アドレス帳から	Q-22
・電話番号から	Q-19
・リダイヤルから	Q-20
・履歴から	Q-21

登録した携帯電話の詳細情報を見る	Q-5
登録した携帯電話を削除する	Q-5, Q-6
発着履歴を削除する	Q-24
微調整をする(地図をスクロールする)	B-6
ビットレート	R-24
表示項目	
MAPCODE／地図情報／AUDIO 情報／	
緯度・経度／登録地点表示	F-5
表示できる施設	C-10
フェード・バランス調整	H-14
フェリーを優先	D-18
フォルダ(オーディオ関係)	J-2, R-23
複数探索	B-11, D-4, D-8
複数ルート探索	D-3, D-8
プリセット機能(ラジオ)	I-2
フロントカメラ映像を表示する	G-10
平均時速設定	F-20
別売品(システムアップ)について	R-80
方面看板	R-34
保証／アフターサービスについて	R-82
保存	
プリセット(保存)する	E-11
プリセット(保存)の上書きをする	E-12
保存したルートの呼び出し／削除をする	D-13
ボタン消	N-2, P-2
本機で再生できるディスク	R-13
本体情報	E-13

ま 行

マーク順	C-16
マーク詳細情報(VICS)	E-5
毎年通知	G-4
マップコード	C-17, D-4
マルチセッション	R-25
右画面	
3D 表示の角度調整	F-3
地図／情報を表示する	B-14
右画面の設定をする	F-2
右画面表示	B-14
メイン画面／右画面の設定をする	F-2
メッセージ表示について	R-69
メニュー画面	
ワンセグメニュー画面について	O-4
メニュー画面	A-12
メンテナンス情報の設定	G-3
モード切替ボタン	H-9, K-2

目的地

緯度・経度で目的地を探す	C-19
施設のジャンルから目的地を探す	C-12
住所で目的地を探す	C-6
周辺にある施設から目的地を探す	C-8
地図から目的地を探す	C-18
電話番号で目的地を探す	C-4
登録地点で目的地を探す	C-16
表示できる施設	C-10
マップコードで目的地を探す	C-17
名称で目的地を探す(施設 50 音)	C-2
郵便番号で目的地を探す	C-18
履歴から目的地を探す	C-7
目的地周辺	C-8
目的地に設定	D-4, D-6, D-7
目的地の入れ替え	D-10
目的地の追加	D-8
目的地の変更	D-7
目的地までのルートを探索する	D-2, D-4, D-6
文字／数字	
入力方法	A-16
文字訂正	A-17

や 行

有料道路	D-5, D-6, D-8, D-12, D-18, D-19, E-5, R-11
有料優先	D-3, D-11
用語説明	R-74

ら 行

ラジオ

FM／AM を切り替える	I-3
エリア選局	I-5
選局する	I-3
操作画面の見かた	I-2
道路交通情報を聞く	I-8
道路交通情報をメモリーする	I-8
プリセットボタンに放送局をメモリーする	I-7
ランドマーク表示設定	F-14
リアカメラ映像を設定する	G-17
カメラ映像について	G-21
警告文の位置を上げる	G-19
リアカメラ映像を表示する	G-17
リアカメラガイドの見かた	G-20
リアカメラガイドを表示する	G-18
リアカメラの次回表示ビュー設定	G-22
立体アイコン	R-43

リピート／ランダム／スキャン／	
シャッフル再生	H-5
ルート案内時の注意点	R-38
自車マークの表示誤差について	R-40
ルート案内設定	F-7
AV画面中の音声案内割り込み設定	F-12
ETCレーン表示	F-8
JCTビュー表示	F-10
交差点拡大図	F-11
交差点情報	F-7
全ルート表示	F-7
盗難多発地点案内	F-13
ハイウェイモード表示	F-9
方面看板表示	F-12
目的地方向表示	F-13
リアル3D表示	F-11
ルート情報表示	F-8
ルート色	F-8
ルート案内をストップ／スタートする	D-12
ルート学習	D-18, D-20
ルート削除	D-13
ルート情報	B-15, F-8
ルート設定	D-2
ルート全表示	D-12
ルート沿い	C-8, C-12
ルート探索	D-3, D-6
ルート探索条件設定	D-18
ルート編集	B-9, D-7, D-8, D-10, D-11
ルート保存	D-13
ルートを変更する	D-7
レベル1(文字)表示	E-4
レベル2(簡易図形)表示	E-4
レベル3(地図)表示	E-4
連動情報番組(FM多重放送)	E-6

わ 行

ワンセグ

視聴エリアの変更をする	O-8
初期スキャン／再スキャン	O-10
設定	
・音声と字幕設定	O-20
・受信レベル確認	O-21
・設定を初期化する	O-22
・中継・系列局サーチ設定	O-19
選局する	
・エリア呼出／プリセット呼出	O-17
・手動／自動	O-12

・チャンネルリスト／プリセットリスト	O-14
・プリセット	O-13
タッチパネル部について	O-3
チャンネルリスト／プリセットリストを	
クリアする	O-18
中継・系列局サーチをする	O-6
バナー表示	O-2
番組表を見る	O-7
プリセットボタンにメモリーする	O-16
マルチサービスについて	R-29
ワンセグについて	R-28
ワンセグの画像について	R-29
ワンセグの番組受信について	R-29
ワンセグメニューについて	O-4

数字・アルファベット

1 ルート探索	D-2, D-3, D-4
3D地図	B-4
3D表示の角度調整	F-3
AAC	K-2, R-17, R-22
AUX	P-1
AV MENU画面	H-2
BLUETOOTH Audio	
再生／操作画面の見かた	M-8
初期登録設定	M-2
・BLUETOOTH 情報を確認／変更する	M-6
・自動接続設定	M-5
・デバイス名変更	M-6
・登録機器の切り替え	M-4
・登録機器の削除	M-3
・登録機器の情報を見る	M-3
・パスキー変更	M-7
・優先接続設定	M-5
選曲モード選択	M-10
トラックリストより再生	M-9
CD・MP3／WMA	
再生／操作画面の見かた	J-2
トラックリストより再生	J-3
早戻し／早送りをする	H-4
標準キーのボタンで選曲する	H-4
フォルダ選択(MP3／WMA)	J-2
リピート／ランダム／スキャン再生	H-5
CPRM対応	R-13
DSP(サラウンドの設定)	H-18
DVD	R-13
DVDの初期設定について	N-18
DVDプレーヤーを使う	N-3
・DVDメニューを使う	N-7
・VRモードディスクの再生	N-16

・ 音声／字幕言語切替	N-13
・ サーチ選択(好きな所から再生)	N-11
・ 再生一時停止	N-5
・ 再生停止	N-4
・ 時間表示切替	N-14
・ スロー戻し／スロー送りをする	N-6
・ タイトルメニューを使う	N-9
・ チャプターを戻す／進める	N-5
・ リピート再生	N-15
再生／操作画面の見かた	N-2
早戻し／早送りをする	H-4
ecoドライブ	
グラフ表示	E-16
設定する	E-15
評価を開始する	E-14
評価を止める	E-15
右画面に表示する	B-14
履歴を削除する	E-17
履歴を見る	E-16
ETC	R-11
ETC 情報を見る	E-2
各機能を設定する	G-7
予告案内について	R-11
ETC 情報	E-2
ETC レーン表示	R-11
ETC レーン表示設定	F-8
FM多重	E-3, E-4, E-6, E-7
GPS	
GPS 受信表示	B-3
GPSについて	R-6
アンテナについて	A-7
受信しにくい場所について	R-6
受信するまでの時間について	R-6
H.264	K-2, R-26
internavi 情報	E-13
internavi 設定について	G-2
internavi ルート	D-2, D-11
iPod	
iPod を接続する	L-13
再生一時停止	L-9
再生／操作画面の見かた	L-2
選曲モード選択	L-4
トラックリストより選曲	L-3
早戻し／早送りをする	H-4
ビデオモード(ビデオ再生)	L-10
標準キーのボタンで選曲する	H-4
モード切替	L-10
リピート／シャッフル再生	H-5, H-7
iPod／iPhone 対応可能機種	R-18
JPEG	K-2

JPEG(画像ファイル)	R-26
MP3	K-2, R-17, R-22
MPEG4	K-2, R-17, R-26
NaviCon	C-20
QQ コール	
表示する	Q-25
利用する	Q-25
Quick MENU	D-6, D-14, I-2, J-2, K-2, L-2, M-8, N-2, P-2, R-2
Quick MENU の設定	B-9
Quick 機能	B-10
SDHC	R-16
SD カード	A-14, R-16
SD カードの取り扱いかた	R-15
SD カードを入れる／取り出す	A-14
再生可能なデータ(ファイル)について	(音楽／画像／動画) R-22, R-26
早戻し／早送りをする	H-4
標準キーのボタンで選曲する	H-4
リピート／ランダム／スキャン再生	H-5
SD カードから地点を登録する	F-29
Sound(イコライザー設定)	H-16
Sound ボタン	I-2, J-2, K-2, L-2, M-8
USB	
画像ファイル(JPEG)について	R-26
接続する	K-7
接続をやめる	K-7
選曲モード選択	K-5
動画ファイル(MPEG4／H.264)について	R-26
早戻し／早送りをする	H-4
標準キーのボタンで選曲する	H-4
リストより再生	K-3
リピート／ランダム／スキャン再生	H-5
VICS	E-4
VICS 情報の受信について	R-9
エリア選局	E-10
概要／お問い合わせ	R-48
緊急情報を見る	E-7
契約約款	R-50
自動選局	E-8
自動選局をやめる	E-9
手動選局	E-9
表示設定	F-17
プリセット(保存)する	E-11
プリセット(保存)の上書き	E-12
プリセット(保存)の呼び出し	E-12
VICS 自動再探索	D-20

VICS 渋滞情報(矢印表示)	E-5
VICS 情報マーク	E-5
VICS タイムスタンプボタン	D-14, E-3, E-5
VICS マーカー一覧表	E-5
VR モードディスク	N-16, R-13
VTR / AUX を使う	P-1
WMA	K-2, R-17, R-22